

TM-m30II Utility ユーザーズマニュアル

概要

TM-m30II Utilityの特長や動作環境、インストールおよびアンインストールについて説明します。

使い方

TM-m30II Utilityの使い方について説明します。

クーポン印刷

クーポン機能の使い方について説明します。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft[®]、Windows[®] はマイクロソフト グループの企業の商標です。

Wi-Fi[®] は、Wi-Fi Alliance[®] の登録商標です。

WPA[™]、WPA2[™] は Wi-Fi Alliance[®] の商標です。

Bluetooth[®] のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、セイコーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

IOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

ESC/POS コマンドシステム

EPSON は、独自の POS プリンターコマンドシステム、ESC/POS により、業界のイニシアチブをとってきました。ESC/POS は特許取得済みのものを含む数多くの独自のコマンドを持ち、高い拡張性で多才な POS システムの構築を実現します。ほとんどの EPSON POS プリンターとディスプレイに互換性を持つほか、この独自の制御システムにはフレキシビリティもあるため、将来アップグレードが行いやすくなります。その機能と利便性は世界中で評価されています。

©Seiko Epson Corporation 2020–2025

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

 重要	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。
 参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本書について

本書の目的

本書は、TM-m30II Utility の使用に必要な情報を提供することを目的としています。

本書の構成

本書は以下のように構成されています。

第 1 章 [概要](#)

第 2 章 [使い方](#)

第 3 章 [クーポン印刷](#)

目次

■ 安全のために	3
記号の意味	3
■ 使用制限	3
■ 本書について	3
本書の目的	3
本書の構成	3
■ 目次	4

概要 6

■ 機能一覧	6
■ サポート OS	10
■ インストール	11
■ アンインストール	11
■ OS による違い	12

使い方 13

■ ユーティリティの起動	13
通信ポートを追加してユーティリティを 起動する	15
■ プリンターへの設定	18
■ プリンター情報	19
■ ロゴの登録	22
ロゴの登録	24
■ 電子ジャーナル	28
電子ジャーナルデータの保管場所	28
電子ジャーナルの設定	28
電子ジャーナルの確認	29
■ 用紙節約	32
■ 自動用紙カット	34
■ 印刷制御	36
■ デバイスフォント	38
■ ブザー	39
■ カスタマーディスプレイ	41
■ バーコードスキャナー	43
■ インターフェイス	44
■ プリンター登録	49

■ キー入力デバイス	51
■ ePOS-Print	52
■ ePOS-Device	53
■ 迂回印刷	54
■ サーバーダイレクト印刷	56
■ ステータス通知	58
■ プロキシ	60
■ IP アドレス	62
■ DNS	64
■ Wi-Fi	65
WPA2-Enterprise の設定	67
■ ePOS-Print	70
■ 証明書	71
証明書の登録	72
証明書の削除	74
■ SSL/TLS	75
■ イーサネット	76
■ SNMP	77
■ タイムアウト	78
■ Bonjour	79
■ 時刻設定	80
■ プロキシ	82
■ フィルタリング	83
■ WebConfig	86
■ 証明書自動更新	87
■ 管理者設定	89
■ 動作テスト	90
■ 設定の保存と復元	92
プリンターの設定をファイルに保存する	92
設定をプリンターに復元する	93

クーポン印刷 94

■ クーポン印刷の概要	94
印刷の仕組み	94
クーポンの印刷方法	95
クーポンデータ形式	97

クーポンの印刷環境	97
■ クーポンの設定	98
クーポンの登録	99
クーポンの印刷方法の設定	103
オプション	106
印刷データだけにロゴを印刷する	108
■ クーポンの印刷	109
ポップアップ選択で印刷する場合	109
■ FAQ	111

Acknowledgements	113
------------------------	-----

概要

「TM-m30II Utility」は、TM-m30II のソフトウェア設定を確認・設定する、TM-m30II 専用のユーティリティです。

本章では、ユーティリティの機能一覧、動作 OS、インストールとアンインストール方法について説明しています。

機能一覧

本ユーティリティの機能は以下のとおりです。

メニュー		機能
メイン		プリンターの印刷やインターフェイスなどのメイン機能を設定します。
プリンター情報		- プリンター情報 - 現在の設定 19 ページ
基本設定	ロゴの登録	ロゴの登録 22 ページ
	クーポン ^{*1}	- クーポンの登録 - クーポン印刷の設定 94 ページ
	電子ジャーナル ^{*1}	電子ジャーナルの設定 28 ページ
	用紙節約	- 上下余白の削減 - 行間 / 改行の削減率 - バーコード高さの削減率 - バックフィードによるトップマージン量 - 文字高さの削減量 32 ページ
	自動用紙カット	- カバークローズ時に用紙を自動カットする - 用紙カット時にロゴを印刷する 34 ページ

メニュー		機能
	印刷制御	• 用紙幅 - 桁数 • 印字速度 • 印字濃度 • 多階調印字濃度 • オフライン中コマンド実行 • まとめ印刷（180 度回転） • 復帰可能エラー解除方法 • 受信バッファ容量 • ハンドシェイクの動作（BUSY となる条件） • 自動改行 • USB 省電力機能の設定 • 受信バッファ BUSY 解除の条件設定 • 紙なし信号出力に有効な紙なし検出器の選択 ^{*2} • エラー信号の設定 • 印刷開始時微小送り • ニアエンドセンサー ^{*2} 36 ページ
詳細設定	デバイスフォント	• デバイスフォントのコードページ • 国際文字セット 38 ページ
	ブザー	• オプションブザー設定 39 ページ
	カスタマーディスプレイ	• カスタマーディスプレイ設定 41 ページ
	バーコードスキャナー	• バーコードスキャナー設定 43 ページ
	インターフェイス	• Bluetooth 設定 • USB クラス設定 • イーサネット設定 • 複数インターフェイスによる印刷のインターフェイスの選択 • インターフェイスの切り替え待ち時間 • 有効なインターフェイスの選択 • ネットワークテザリング ^{*2} 44 ページ
インテリジェント機能 ^{*2}		TM インテリジェントプリンターとして使用する機能を設定します。
デバイス管理	プリンター登録	• ネットワークプリンターの登録 49 ページ
	キー入力デバイス	• キー入力デバイスの登録 51 ページ
ePOS-Print ^{*3}		• ePOS-Print の設定 52 ページ

メニュー		機能
	ePOS-Device	ePOS-Device の設定 53 ページ
	迂回印刷	迂回印刷の設定 54 ページ
	サーバー アクセス	サーバーダイレクト印刷 サーバーダイレクト印刷の設定 56 ページ
		ステータス通知 ステータス通知の設定 58 ページ
		プロキシー - プロキシーの設定 - プロキシーを有効にするサービスの設定 60 ページ
	ネットワーク	
	基本設定	ネットワークプリンターとして使用する機能を設定します。
		IP アドレス
		IP アドレスの設定 62 ページ
	DNS	- DNS サーバーの設定 - ホスト名とドメイン名の設定 64 ページ
		Wi-Fi
		Wi-Fi の設定 65 ページ
	詳細設定	ePOS-Print ^{*3}
		ePOS-Print の設定 70 ページ
		証明書
		証明書の設定 71 ページ
		SSL/TLS
		SSL/TLS の設定 75 ページ
		イーサネット
		ネットワークケーブルの通信規格の設定 76 ページ
		SNMP
		- コミュニティの設定 - IP トラップの設定 77 ページ
		タイムアウト
		タイムアウトの設定 78 ページ
		Bonjour
		Bonjour の設定 79 ページ
		時刻設定
		- タイムサーバーと時差の設定 - 現在時刻と時差の設定 80 ページ
		プロキシー
		プロキシーの設定 82 ページ

メニュー		機能
詳細設定	フィルタリング	IP フィルターの設定 83 ページ
	WebConfig	WebConfig の設定 86 ページ
	証明書自動更新	- CA 署名証明書の自動更新の設定 - 更新時刻の設定 87 ページ
管理者設定	管理者設定	管理者名と設置場所の設定 89 ページ
動作テスト		動作テスト 90 ページ
設定の保存と復元		- ログ登録ファイルとプリンターの設定をファイルに保存する - 保存したファイルから設定をプリンターに復元する 92 ページ

*1 プリンタードライバーがインストールされていない場合は、利用できません。

(ドライバーの種類とバージョンについては、[97 ページ](#)「クーポンの印刷環境」を参照してください。)

*2 プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。

*3 ePOS-Print は、インテリジェント機能またはネットワーク - 詳細設定のどちらかで設定できます。

サポート OS

- Windows 11
- Windows 10 (32 bit/64 bit)
- Windows 8.1 (32 bit/64 bit)
- Windows 8 (32 bit/64 bit)
- Windows 7 SP1 (32 bit/64 bit)

インストール

TM-m30IIUtilityXXX.exe を実行してください。



参考

管理者権限でインストールしてください。

お客様が画像編集アプリケーションで作成したクーポンを、EPSON Coupon Generator で登録する場合は、"セットアップタイプ" 画面で、"EPSON Coupon Generator" をチェックして、インストールしてください。Coupon Generator をインストールすると、[デバイスとプリンター] に EPSON Coupon Generator (TM-m30II) が追加されます。



アンインストール

以下の手順でアンインストールしてください。

- 1 コンピューターで実行している、他のすべての作業を終了します。
- 2 [スタート] - [設定] - [アプリ] - [アプリと機能] を選択します。
12 ページ「OS による違い」を参照してください。
- 3 [EPSON TM-m30II Utility] を選択し、[アンインストール] をクリックします。
- 4 画面の指示に従ってアンインストールします。

OS による違い

本書では OS の操作手順を Windows 10 を使って説明しています。Windows 10 以外の操作手順は以下を参照してください。

項目	説明
本ユーティリティー の起動	Windows 11/ Windows 10 [スタート] - [EPSON TM-m30II] - [EPSON TM-m30II Utility] Windows 8.1/Windows 8 [スタート] - [すべてのアプリ] - [TM-m30II Utility] Windows 7 [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-m30II Software] - [TM-m30II Utility]
アンインストール	Windows 11 [スタート] - [設定] - [アプリ] - [アプリと機能] Windows 10 [スタート] - [設定] - [アプリ] (または [システム]) - [アプリと機能] Windows 8.1/Windows 8 [デスクトップ] - サイドバー [設定] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] Windows 7 [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール]

使い方

本章では、本ユーティリティの使い方について説明しています。



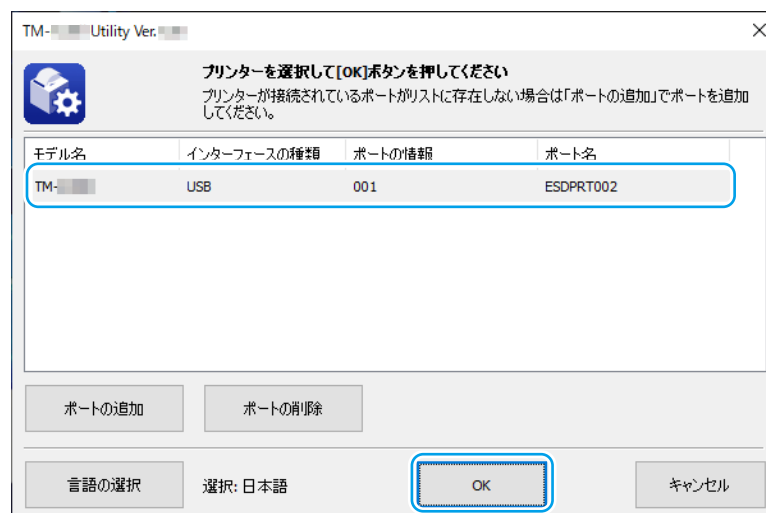
重要

設定の保存中は、プリンターの電源を切ったり、接続を切断したりしないでください。

ユーティリティの起動

以下の手順で、ユーティリティを起動します。

- 1 プリンターをコンピューターまたはネットワークに接続し、オンラインになっていることを確認してください。
- 2 [スタート] - [EPSON TM-m30II] - [EPSON TM-m30II Utility] を選択します。
12 ページ「OS による違い」を参照してください。
- 3 以下の画面が表示されます。設定・確認するプリンターを選択し、[OK] をクリックします。
プリンターが表示されない場合は、15 ページ「通信ポートを追加してユーティリティを起動する」を参照してください。



参考

- 表示する言語を選択したい場合、[言語の選択] をクリックします。
- ポートを選択し、[ポートの削除] をクリックすると、選択した通信ポートが削除されます。

4 本ユーティリティが起動します。"現在の設定"画面に取得した値が表示されます。
初めて接続したプリンターの場合、プリンターと通信できないときには本ユーティリティが起動しません。この場合、プリンターがオンラインになっていること、手順3で選択したインターフェイスでコンピュータと接続されていることを確認してください。

 **参考**

- 表示された "現在の設定" 画面には、プリンターと通信して取得した値が表示されます。
- 本ユーティリティとの通信が確立して設定値を取得したプリンターの場合、プリンターと通信できなくても本ユーティリティは起動します。このとき、"現在の設定" 画面には前回取得・設定した値を表示します。
- USB で複数のプリンターを接続している場合、接続したプリンターを識別するには、動作テストまたは、プリンター側面のシリアルナンバー と "現在の設定" 画面の (プリンターの) シリアル番号を確認してください。

TM- Utility Ver. ステータス: オフライン

プリンター名: TM-
ポート:

プリンター情報

プリンター名
搭載フォント
シリアル番号
ファームウェアバージョン

現在の設定

メニュー	項目	設定内容
ログの登録	登録数	1
	メモリー使用量	0 KB/256 KB
用紙節約	上余白の削減:	削減する
	下余白の削減:	削減する
	行間の削減率:	75%
	改行の削減率:	75%
	バーコード高さの削減率:	75%
	バックフィードによるトップマージン量	2.0mm
自動用紙カット	文字内余白75%削減 + 文字高さ縮小	
	カバークロース時に用紙を自動カットする	

メンテナンスカウンター

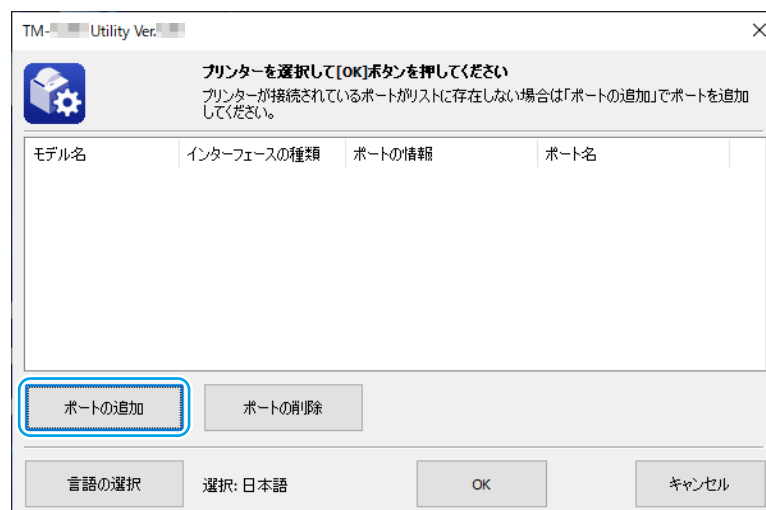
設定

2

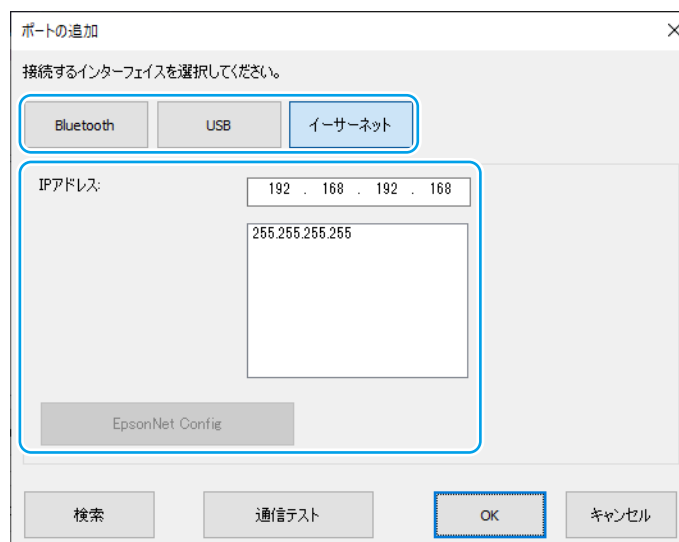
通信ポートを追加してユーティリティを起動する

プリンターがリストに表示されない場合は、以下の手順で通信ポートを追加して、ユーティリティを起動します。

- 1 リストにプリンターが表示されていないことを確認して、[ポートの追加]をクリックします。

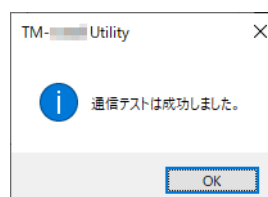


- 2 "ポートの追加" 画面が表示されます。追加するポートの設定をします。設定後、[OK]をクリックします。



参考

- ポートが通信できない場合、エラーメッセージが表示されます。その場合、ポートは追加できません。プリンターの接続状態、またはドライバーのポート設定を確認してください。
- [通信テスト] はテスト印刷ではなく、通信結果を画面に表示します。



インターフェイスごとに設定項目が異なります。下記の表を参考にして必要な項目を設定してください。

- Bluetooth

項目	説明
ポート	使用するコンピューターの仮想シリアルポートを選択します。
Bluetooth Connector	EPSON TM Bluetooth Connector を起動します。 EPSON TM Bluetooth Connector からプリンターのペアリングをしてください。
検索	通信可能な仮想シリアルポートを検索します。
通信テスト	通信テストをします。

- USB

項目	説明
ポート	使用する USB ポートを選択します。
検索	通信可能な USB ポートを検索します。
通信テスト	通信テストをします。

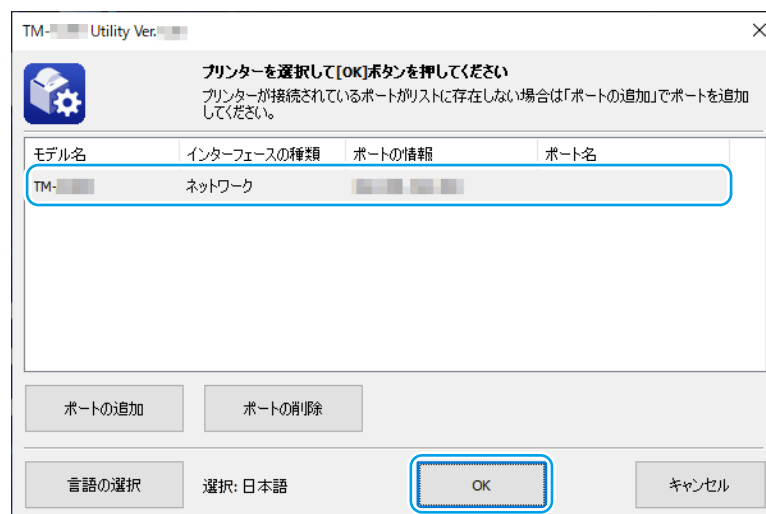
 参考	USB 接続の場合、プリンタークラスとベンダークラスのプリンターが混在する環境では、プリンターを追加できないことがあります。この場合は、すでにコンピューターに接続されているプリンターの電源を切ってから、本ユーティリティを起動してください。
--	---

- イーサネット

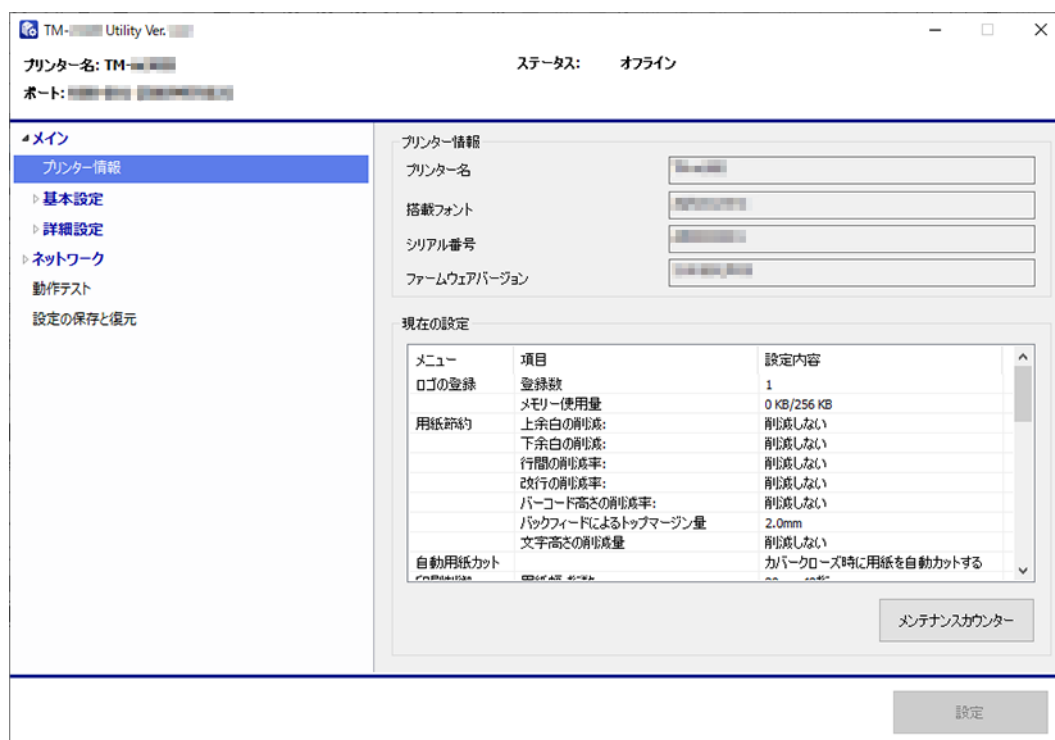
項目	説明
IP アドレス	使用するプリンターの IP アドレスを入力します。
検索	ネットワーク上にあるプリンターを検索し、IP アドレスを一覧表示します。
通信テスト	通信テストをします。

 参考	[検索] をクリックしても、IP アドレスを設定済みのプリンターが表示されない場合、プリンターの IP アドレスを [IP アドレス] に直接入力してください。
---	--

3 以下の画面に戻ります。追加したポートを選択し、[OK] をクリックします。

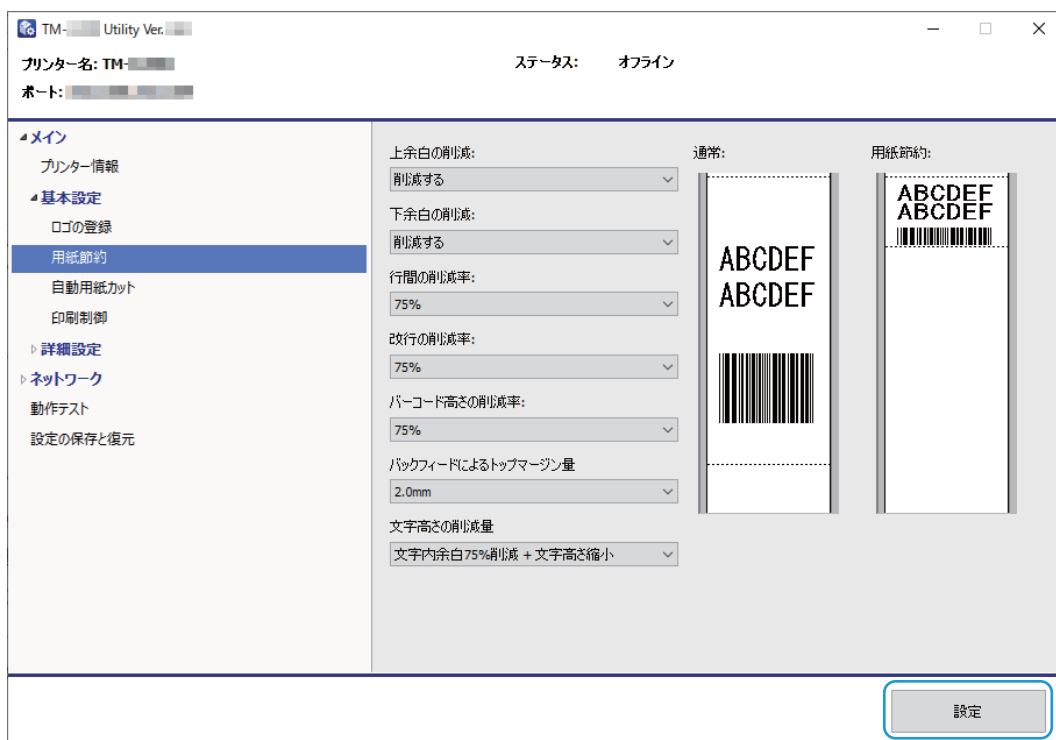


4 本ユーティリティが起動します。



プリンターへの設定

プリンターへの設定は、本ユーティリティの各項目を設定した後に、[設定]をクリックします。



参考

プリンターへの設定は、設定後にプリンターを再起動するために約 1 分かかります。あらかじめ各項目を設定してから、プリンターへの設定をすることをお勧めします。

プリンター情報

プリンターの印刷やインターフェイスなどの、メイン機能の設定値を表示します。
[メイン]-[プリンター情報]で表示します。

プリンター情報

プリンター名

搭載フォント

シリアル番号

ファームウェアバージョン

現在の設定

メニュー	項目	設定内容
ロゴの登録	登録数	1
	メモリー使用量	0 KB/256 KB
用紙節約	上余白の消滅	消滅しない
	下余白の消滅	消滅しない
	行間の消滅率	消滅しない
	改行の消滅率	消滅しない
	バーコード高さの消滅率	消滅しない
	バックフィードによるトップマーゲン量	2.0mm
自動用紙カット	文字高さの消滅量	消滅しない
		カバーローズ時に用紙を自動カットする

メンテナンスカウンター

項目		説明
プリンター情報	プリンター名	プリンター名が表示されます。
	搭載フォント	プリンターに搭載されているフォントが表示されます。
	シリアル番号	プリンターのシリアルナンバーが表示されます。
	ファームウェアバージョン	プリンターのファームウェアバージョンが表示されます。
現在の設定	ロゴの登録	登録されているロゴの数と、メモリーの使用量および全体量が表示されます。
	クーポン *1	クーポンの設定が表示されます。
	電子ジャーナル *1	電子ジャーナルの設定が表示されます。
	用紙節約	用紙節約の設定が表示されます。
	自動用紙カット	自動用紙カットの設定が表示されます。
	印刷制御	用紙幅 - 桁数、印字速度、印字濃度、多階調印字濃度、オフライン中コマンド実行、まとめ印刷（180 度回転）、復帰可能エラー解除方法、受信バッファ容量、ハンドシェイクの動作（BUSY となる条件）、自動改行、USB 省電力機能の設定、受信バッファ BUSY 解除の条件設定、紙なし信号出力に有効な紙なし検出器の選択、エラー信号の設定、印刷開始時微小送り、ニアエンドセンサーの設定 *2 が表示されます。
	デバイスフォント	デバイスフォントのコードページおよび国際文字セットの設定が表示されます。
	ブザー	ブザーの設定が表示されます。
	カスタマーディスプレイ *3	カスタマーディスプレイの設定が表示されます。

項目		説明
現在の設定	バーコードスキャナー	バーコードスキャナーの設定が表示されます。
	インターフェイス	インターフェイスの種類、主接続インターフェイスの選択、インターフェイスの切り替え待ち時間の設定、およびネットワークテザリングの設定 ^{*2} が表示されます。
メンテナンスカウンター		メンテナンスカウンターが表示されます。 21 ページ「メンテナンスカウンター」 を参照してください。

*1 プリンタードライバーがインストールされていない場合は、表示されません。
*2 プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。
*3 カスタマーディスプレイが接続されていない場合は、表示されません。

メンテナンスカウンター

メンテナンスカウンターの値の表示と、リセット可能な値をリセットできます。

メンテナンスカウンター

レシート

紙送り量 [km]

リセット可能:

リセット

積算:

オートカッター駆動回数 [回]

リセット可能:

リセット

積算:

OK

項目		説明
紙送り量 [km]	リセット可能	プリンターの紙送り量を表示します。 [リセット]を押すと、値が 0.000 に戻ります。
	積算	プリンターの紙送り量（積算値）を表示します。
オートカッター駆動回数[回]	リセット可能	プリンターのオートカッター駆動回数を表示します。 [リセット]を押すと、値が 0 に戻ります。
	積算	プリンターのオートカッター駆動回数（積算値）を表示しま す。

ロゴの登録

プリンターに登録するロゴデータの設定をします。
[メイン]-[基本設定]-[ロゴの登録]で表示します。

 **参考**

プリンターに登録されているロゴは、以下のことはできません。

- ロゴデータの再編集
- プリンターへの再登録
- ファイル保存

開始キーコード指定モード

キーコード	画像ファイル	サイズ [バイト]
☒ 32, 32	(登録済)	

プレビュー



倍率: 標準 配置: 左揃え

追加

編集

削除

テスト印刷

モード変更

追加ロゴサイズ 0 KB

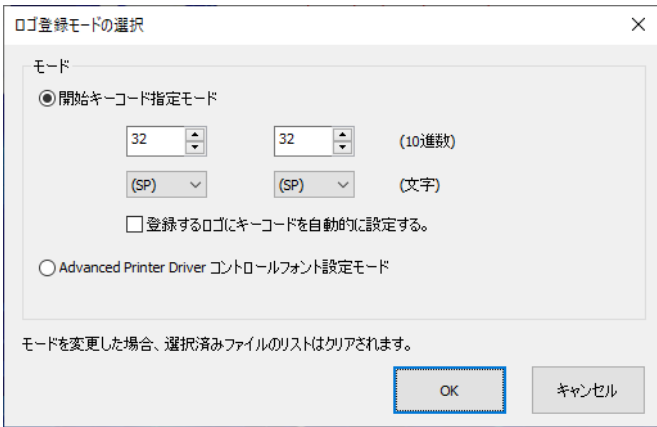
使用量 0 KB/256 KB

ファイルに保存

プリンターに登録

[ロゴの登録]には、以下の機能があります。

項目		説明
キーコードリスト		プリンターに登録されているロゴと、プリンターに追加するロゴを表示します。
キーコード		プリンターに登録済みのロゴ： ロゴデータのキーコードの左側に☑が表示されます。 追加するロゴ： 設定するキーコードのみ表示されます。
画像ファイル		プリンターに登録済みのロゴ： (登録済)が表示されます。 追加するロゴ： 画像ファイル名が表示されます。
サイズ [バイト]		プリンターに登録済みのロゴ： 表示されません。 追加するロゴ： 画像ファイルのサイズが表示されます。
追加		画像ファイルを追加します。
編集		画像ファイルのハーフトーンや明るさを編集します。
削除		ロゴを削除します。

項目	説明
テスト印刷	プリンターに登録済のロゴを印刷します。 ロゴに [倍率]、[配置] を設定すると、設定した結果の大きさと位置で印刷します。
モード変更	ロゴの登録モードを変更します。[モード変更] をクリックすると、" ロゴ登録モードの選択 " 画面が表示されます。 
開始キーコード指定モード	ロゴ管理用の識別コードを指定します。 登録するロゴにキーコードを自動的に設定する。 チェックすると、登録するロゴにキーコードを自動的に設定します。チェックを外すと、ロゴを追加または編集するときにキーコードを設定します。
Advanced Printer Driver コントロールフォント設定モード	Windows プリンタードライバー (Advanced Printer Driver Ver.6) の場合、キーコードの代わりに、control フォント (h ~ l) で管理します。
プレビュー	プリンターに登録する前の、ロゴのイメージが表示されます。登録済みのロゴのイメージは表示されません。
倍率	キーコードリストで選択したロゴの倍率を設定します。設定した結果は、[テスト印刷] またはプレビューで確認できます。実際に使用する場合には、ドライバーや ESC/POS コマンドから倍率を指定してください。
配置	キーコードリストで選択したロゴの印刷位置を設定します。設定した結果は、[テスト印刷] またはプレビューで確認できます。実際に使用する場合には、ドライバーや ESC/POS コマンドから配置を指定してください。
ロゴインジケータ	インジケータ：プリンターのロゴ登録可能メモリーサイズ 追加ロゴサイズ：リストに表示されているロゴのサイズ 使用量：登録済みロゴのサイズ
ファイルに保存	画像ファイルを、ロゴ登録ファイル (TLG ファイル) または、ビットマップファイルで保存します。
プリンターに登録	画像データを、プリンターに登録します。

ロゴの登録

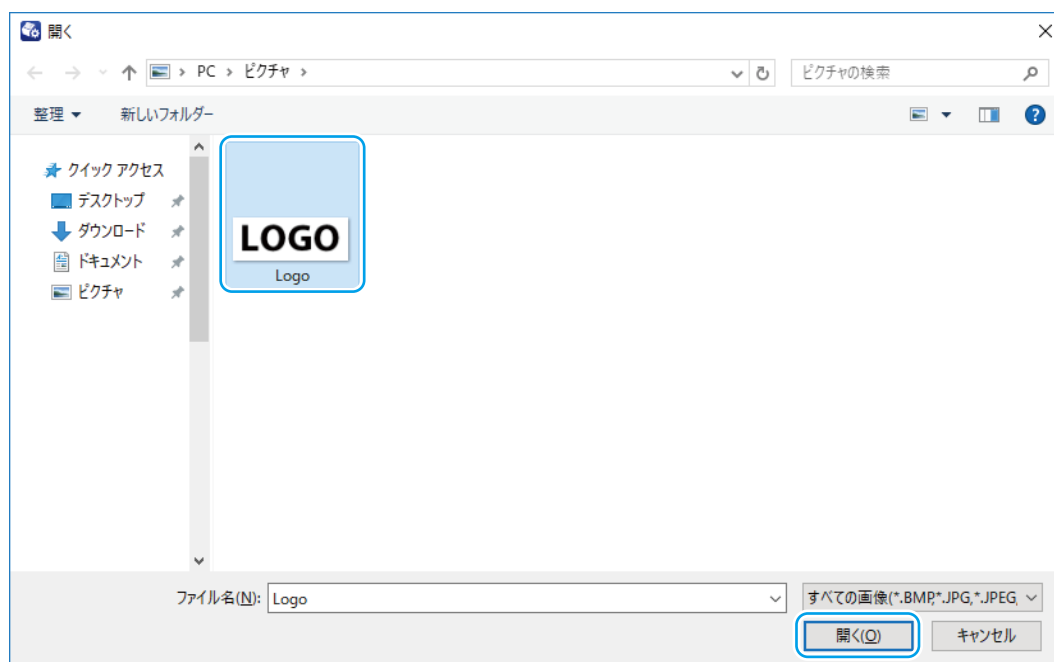
複数のロゴを登録する場合、まとめて一度にプリンターに登録することをお勧めします。
以下の手順でロゴを登録します。

1 [追加] をクリックします。



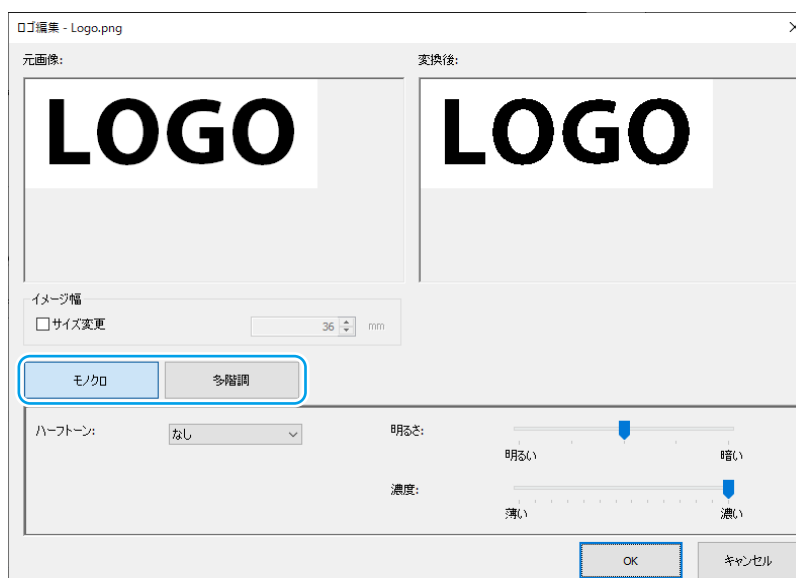
2 プリンターに登録する画像ファイルを指定し、[開く] をクリックします。

指定可能なファイルサイズは、幅 2047 x 高 831 ピクセル (ドット) 以下の bmp, jpeg, gif, png ファイルです。ロゴの幅が用紙幅を超える場合は警告メッセージを表示します。[OK] をクリックし、手順 4 の "ロゴ編集" 画面で縮小してください。

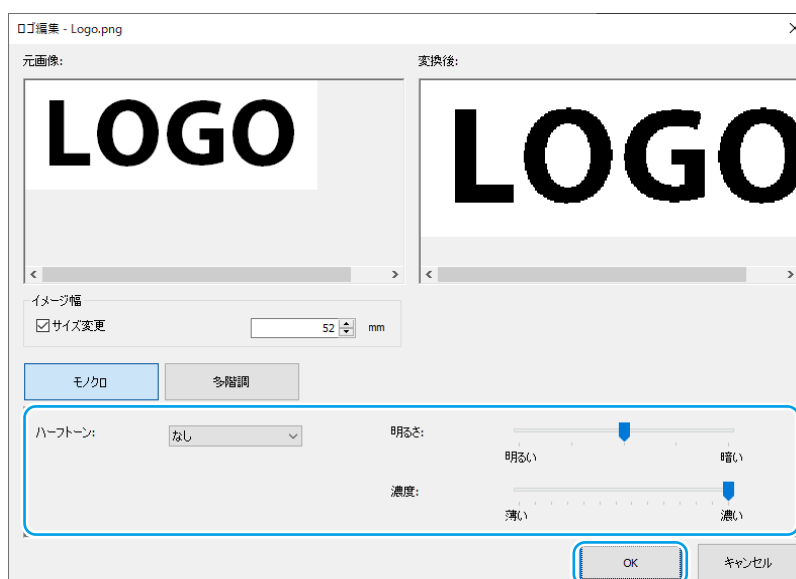


3 "ロゴ編集"画面が表示されます。[モノクロ]または[多階調]をクリックし、出力する画像フォーマットを選択します。

[モノクロ]の場合は2色に、[多階調]の場合はグレースケールで16色(階調)に減色します。



4 画面上部のプレビューを参照して、イメージデータを設定します。設定が終了したら、[OK]をクリックします。



設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
イメージ幅	リサイズ後の画像サイズを設定します。(設定値は mm です。)
サイズ変更	サイズの変更の有 / 無を設定します。 チェックしない場合、画像のサイズで印刷されます。画像が大きい場合、用紙幅を超える部分は印刷されません。
ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。手順 3 で [モノクロ] を選択した場合、[ディザ]/[誤差拡散]/[なし] から、[多階調] を選択した場合、[ディザ]/[なし] から選択します

項目	説明
明るさ	明るさを設定します。手順 3 で [モノクロ] を選択した場合、5 段階から、[多階調] を選択した場合、15 段階から選択します。
濃度	印刷の濃度を設定します。

5 ログ登録モードが [開始キーコード指定モード] で、[登録するロゴにキーコードを自動的に設定する] にチェックされていない場合、" キーコードの設定 " 画面が表示されます。キーコードを設定し、[OK] をクリックします。

[開始キーコード指定モード] 以外のログ登録モードや、[登録するロゴにキーコードを自動的に設定する] がチェックされている場合、" キーコードの設定 " 画面は表示されません。

キーコードの設定

登録するロゴに以下のキーコードを設定します。
変更したい場合は、任意の番号を入力してください。

32

33

(10進数)

(SP)

!

(文字)

☐ 登録するロゴにキーコードを自動的に設定する。

OK

6 リストにロゴデータが追加されます。複数のロゴデータを登録する場合、手順 1 ～ 5 を繰り返します。

7 プリンターに登録するロゴデータをすべて追加後、画面右のインジケーターでプリンターに登録可能なサイズが確認し、[プリンターに登録] をクリックします。

開始キーコード指定モード

キーコード	画像ファイル	サイズ [バイト]
32, 32 " "	(登録済)	
32, 33 "!"	Logo.png	8136

プレビュー

LOGO

倍率: 標準 配置: 左揃え

追加

編集

削除

テスト印刷

モード変更

追加ロゴサイズ 8 KB

使用量 0 KB/256 KB

プリンターに登録

ファイルに保存

8 ログデータがプリンターに登録されます。また、ログデータはロゴ登録ファイル（TLG ファイル）にも保存されます。

ロゴ登録ファイルについて

ロゴ登録ファイル (TLG ファイル) は、ロゴをプリンターに登録したときに、上書き保存されます。このファイルには、最後にプリンターに登録したロゴのデータしか保存されません。そのため、複数のロゴデータをロゴ登録ファイルに保存したい場合、すべてのロゴデータを一度でプリンターに登録してください。すでにプリンターに登録済みのデータを保存するには、以下の手順を実施してください。

- 1 プリンターに登録済みのロゴをすべて削除します。
22 ページ「[ロゴの登録](#)」を参照してください。
- 2 プリンターに登録するロゴデータをすべて用意します。
- 3 本ユーティリティにすべてのロゴを追加し、プリンターに一度で登録します。
この手順により、すべてのロゴデータを含むロゴ登録ファイル (TLG ファイル) が作成されます。
24 ページ「[ロゴの登録](#)」を参照してください。

電子ジャーナル

電子ジャーナルとは、印刷したデータをバイナリーファイルでコンピューターに保管する機能です。印刷の都度、ファイルが生成されます。本ユーティリティでは、日付を指定して印刷結果を表示できます。プリンタードライバーがインストールされていない場合は、利用できません。ドライバーの種類とバージョンについては、[97 ページ「クーポンの印刷環境」](#)を参照してください。

電子ジャーナルデータの保管場所

電子ジャーナルデータの保管場所は、以下のとおりです。

項目	説明
フォルダー	C:\ProgramData\EPSON\TMCommandEmulator\EJ ¥[機種名]¥[yyyymmdd(年月日)]
ファイル名	[ポート名]時分秒ミリ秒.bin (例: [LPT2]104045847.bin ポート名は、コンピューターのポートを確認してください。USB のポート名は、USB のシリアル番号 (USBID) となります。)



参考

電子ジャーナルデータは、コンピューターに蓄積されます。そのため数か月に一度、データを削除してください。必要に応じてバックアップしてください。

電子ジャーナルの設定

以下の手順で電子ジャーナルを設定します。

- 1 [メイン] - [基本設定] - [電子ジャーナル] をクリックします。
- 2 [電子ジャーナルを有効にする] にチェックします。

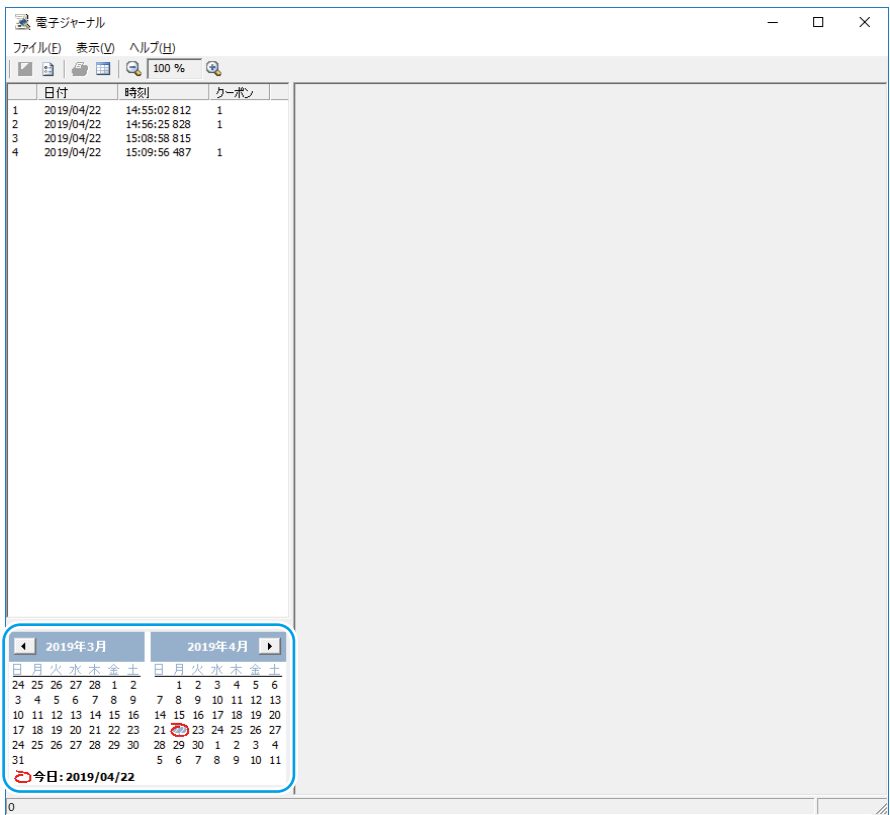


電子ジャーナルの確認

以下の手順で電子ジャーナルを確認します。

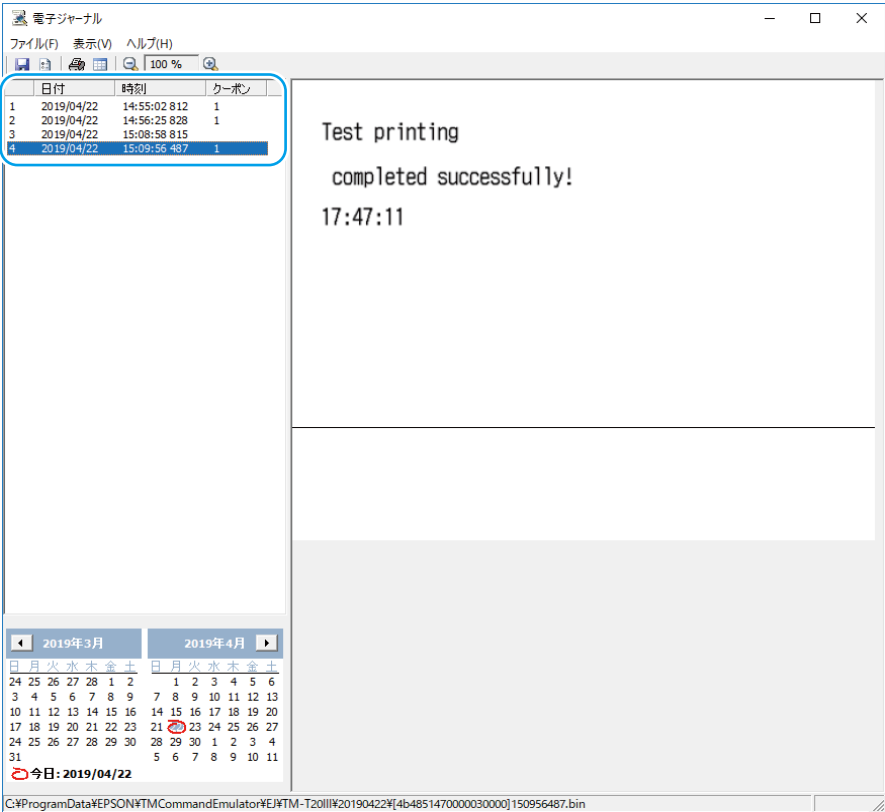
 参考	[電子ジャーナルを有効にする] にチェックが入っていないと、電子ジャーナルを表示できません。
---	--

- 1 [メイン] - [基本設定] - [電子ジャーナル] をクリックします。
- 2 [表示] をクリックします。
"電子ジャーナル" 画面が表示されます。
- 3 確認したい期間 (日付) をカレンダーから選択します。



 参考	週単位の表示など、月をまたいで選択する場合、表示枠をドラッグして広げると、2 か月分のカレンダーが表示されて選択できるようになります。
---	---

- 4 表示したいデータを、リストから選択します。
印字結果が表示されます。



電子ジャーナルのメニューバーは、以下の構成になっています。

項目		説明
ファイル	テキストファイルに出力	選択した印刷データを、テキストファイルに出力します。 (グラフィックで印刷された場合は、テキスト出力されません。)
	ビットマップファイルに出力	選択した印刷データを、ビットマップファイルに出力します。
	印刷	選択した印刷データを、プリンターで印刷します。
	終了	電子ジャーナルを終了します。
表示	表示を更新	表示を更新します。
	Language	言語を切り替えます。
	オプション設定	プリンターの設定値を読み込み、画面に表示するイメージを実際に印刷したイメージに合わせます。
	レポート表示	日ごとのレシートの発行枚数、クーポンの発行枚数を集計できます。 31 ページ「レポート表示」 を参照してください。
ヘルプ	バージョン情報	電子ジャーナルのバージョンを表示します。

レポート表示

確認したい期間を選択し、[表示] - [レポート表示]を選択すると、以下の画面が表示されます。

1 日ごとの印刷状況や、クーポン発行状況がわかります。

[CSV ファイルに出力] をクリックすると、レポートの内容を CSV ファイルに保存できます。

No.	Coupon file name	
[1]	CPN_F-WT-1-F.rst	141031037
[2]	CPN_04a5b4bb.rst	141031037
[3]	CPN_nihonchizu.rst	145115107
[4]	CPN_Logo.rst	150758810

用紙節約

用紙節約の設定をします。

**参考**

ロゴ、クーポン等のイメージ印刷やページモード印刷の場合、用紙節約を設定しても用紙を節約できないことがあります。印刷方法ごとの節約できない条件は以下のとおりです。

- Advanced Printer Driver Ver.6 :
回転印刷、バーコードの回転など。*
- UPOS (OPOS ADK, OPOS ADK for .NET) :
ページモード印刷、回転印刷、ビットマップ / バーコード / 文字を横にならべて印刷するなど。
- ESC/POS コマンド : ロゴやクーポン等のイメージ印刷、ページモード印刷、回転印刷など。

* プリンタードライバーには、印刷データの上下の余白を用紙節約する機能があります。詳細はプリンタードライバーのマニュアルを参照してください。
お客様の使用環境で印字結果をご確認の上お使いください。

以下の手順で設定します。

- 2
- 1

[メイン] - [基本設定] - [用紙節約] をクリックします。
- 2

画面の右側に表示されるプレビューを参照して、用紙節約の設定をします。



**参考**

Advanced Printer Driver Ver.6 が Windows のフォントで印刷する場合、[上余白の削減] と [下余白の削減] 以外の設定は無効になります。

設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
上余白の削減	上余白の削減の有無を選択します。[削減する] にすると、印刷開始から最初の印刷データまでの余白を削減します。
下余白の削減	下余白の削減の有無を選択します。[削減する] にすると、最終印字行からオートカットまでの余白を削減します。

項目	機能
行間の削減率	印刷行の、紙送りの縮小率を選択します。最小の紙送り量は2ドットです。
改行の削減率	空白行の紙送り量の縮小率を選択します。上余白節約で削除された行は対象外です。改行のみで紙送りしてマニュアルカットする場合、この設定で紙送り量が少なくなり、最終印刷行がカット位置まで紙送りされないことがあります。
バーコード高さの削減率	バーコードエレメントの高さの縮小率を選択します。バーコードの高さが30ドット以下には縮小しません。 この設定により、バーコードサイズの規格を満たさなくなることがあります。
バックフィードによるトップマージン量	バックフィードによるトップマージンの量を選択します。 初期値は"無効 (9.5 mm)"で、バックフィードしません。
文字高さの削減量	文字高さの削減量を選択します。 文字内の余白と文字の高さを縮小できます



参考

- バックフィードを行う設定にした場合、以下の点に注意してください。
- カットした用紙が残っている状態で次の印字を行った場合、用紙が詰まる可能性があります。
 - バックフィード中に用紙をつかむと、次回印刷時に印字乱れが発生します。
 - 印刷速度が低下します。

3 他の項目を設定する場合は、[設定]をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定]をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

自動用紙カット

カバーを閉めたときの、オートカットやオートカット時のロゴ印刷の設定をします。

**参考**

ここでロゴを設定すると、クーポンを印刷する場合にもロゴを印刷します。クーポンにロゴを印刷しない場合は、クーポン印刷のオートカット時のロゴ印刷を設定します。
[108 ページ「印刷データだけにロゴを印刷する」](#)を参照してください。

以下の手順で設定します。

- 1
- [メイン] - [基本設定] - [自動用紙カット] をクリックします。
- 2
- 設定する項目を選択します。

☐ この機能を使用しない

☒ カバークローズ時に用紙を自動カットする

☐ 用紙カット時にロゴを印刷する

設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
この機能を使用しない	オートカットの機能を無効にします。 手順 4 に進んでください。
カバークローズ時に用紙を自動 カットする	カバーを閉めたときに、オートカットします。 手順 4 に進んでください。
用紙カット時にロゴを印刷する	オートカット時にロゴを印刷します。手順 3 に進んでください。

3 [用紙カット時にロゴを印刷する]を設定します。

☐ この機能を使用しない
☐ カバークロース時に用紙を自動カットする
☒ 用紙カット時にロゴを印刷する

キーコード

トップロゴ: 64 64

ボトムロゴ: なし

条件

☒ コマンドによる用紙カット時
☒ カバークロース時
☐ 電源ON時

配置

中央揃え

左揃え

☒ 上余白の削減

ロゴの途中で白筋が入る場合があります。テスト印刷をして確認ください

設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
トップロゴ	用紙の最初に印刷するロゴを設定します。 • キーコード： 印刷するロゴのキーコードを選択します。 • 配置： ロゴの印刷位置を選択します。
ボトムロゴ	用紙の最後に印刷するロゴを設定します。 • キーコード： 印刷するロゴのキーコードを選択します。 • 配置： ロゴの印刷位置を選択します。
条件	ロゴ印字の動作条件を設定します。 • コマンドによる用紙カット時： 本項目のチェックは外せません。 • カバークローズ時： カバークローズ時にトップロゴ印刷するか設定します。 • 電源 ON 時： この設定にすると、プリンターの設定を変更するたびに、プリンターがリセットされ、用紙をオートカットしてトップロゴが印刷されます。
上余白の削減	[トップロゴ] の設定で印刷されるロゴの、上余白を節約できます。[トップロゴ] を設定した場合のみ設定可能です。[トップロゴ] の途中 (上端から 13 mm) に白線が入る場合があります。そのため、お客様の使用環境で印字結果をご確認の上でお使いください。

4 他の項目を設定する場合は、[設定]をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定]をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、18 ページ「プリンターへの設定」を参照してください。

印刷制御

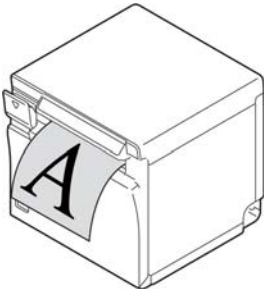
印刷制御の設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1
- 「メイン」-「基本設定」-「印刷制御」をクリックします。
- 2
- 印刷制御の設定をします。

機能	設定値	
用紙幅・桁数	80mm-48桁	▼
印字速度	レベル 13 (速い)	▼
印字濃度	100%	▼
多階調印字濃度	100%	▼
オフライン中コマンド実行	有効	▼
まとめ印刷(180度回転)	無効	▼
復帰可能エラー解除方法	コマンド/カバークローズ	▼
受信バッファ容量	4Kバイト	▼
ハンドシェイクの動作 (BUSYとなる条件)	オフラインもしくは受信バッファフル	▼
自動改行	常時無効	▼
USB省電力機能の設定	有効	▼
受信バッファ-BUSY解除の条件設定	残256バイトでBUSY解除	▼
紙なし信号出力に有効な紙なし検出器の選択	ロール紙エンド検出器有効、ロール...	▼
エラー信号の設定	有効	▼
印字開始時微小送り	無効	▼
ニアエンドセンサー	無効	▼

設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
用紙幅 - 桁数	プリンターの用紙幅と桁数を選択します。
印字速度	プリンターの印刷速度を選択します。
印字濃度	印字濃度を選択します。
多階調印字濃度	多階調印字濃度レベルを選択します。
オフライン中コマンド実行	プリンターがオフライン中にコマンドを実行するかどうかを選択します。
まとめ印刷（180 度回転）	レシート毎に 180 度回転して印刷するかどうかを選択します。 前方排紙で設置されたプリンターから見やすい向きで印刷される機能です。
復帰可能エラー解除方法	復帰可能エラー解除方法を選択します。
受信バッファ容量	受信バッファの容量を選択します。



項目	機能
ハンドシェイクの動作 (BUSY となる条件)	通信時に BUSY を返す条件を選択します。
自動改行	自動改行の設定を選択します。
USB 省電力機能の設定	USB 省電力機能の設定を選択します。
受信バッファーBUSY 解除の 条件設定	受信バッファー BUSY を解除する条件を設定します。「受信バッファー 容量」が 4 K バイト時に有効となります。
紙なし信号出力に有効な 紙なし検出器の選択 *	紙なし信号出力に有効な紙なし検出器を選択します。
エラー信号の設定	エラー信号の設定を選択します。
印刷開始時微小送り	印刷開始時に約 1mm 紙送りしてから印刷する機能の設定を選択します。
ニアエンドセンサー *	ニアエンドセンサーの機能を設定します。

* プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。

 参考	プリンタードライバーと設定が重なる場合、以下はプリンタードライバーの設定が優先されます。 • 印字濃度 • 印字速度
---	--

- 3** 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
- プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

デバイスフォント

デバイスフォントや国際文字セットの設定をします。

 **参考**

印刷時には、ドライバー側の設定が優先されます。

以下の手順で設定します。

- 1
- [メイン] - [詳細設定] - [デバイスフォント] をクリックします。
- 2
- フォントの設定をします。

OPOS ADKを利用する場合は、SetupPOSでフォントを設定する必要があります。

コードページ:

PC437 (USA:Standard Europe) ▼

国際文字セット:

アメリカ ▼

テスト印刷

設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
コードページ	デバイスフォントのコードページを選択します
国際文字セット	国際文字セットを選択します。
テスト印刷	設定されたデバイスフォントのフォントパターンが印刷されます。

- 3
- 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
- プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

ブザー

オプションブザーの設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [メイン] - [詳細設定] - [ブザー] をクリックします。
- 2 ブザー使用の有無を選択します。

☒ 無効

☐ オプションブザー

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
無効	ブザーを使用しません。手順 4 へ進んでください。
オプションブザー	オプションブザーを使用します。手順 3 へ進んでください。

3 オプションブザーの設定をします。

☐ 無効

☒ オプションブザー

エラー発生時:

鳴らし続ける

オートカット駆動時:

一回

パターンA

指定パルス1 (2 pin) 発生時:

一回

パターンA

指定パルス2 (5 pin) 発生時:

一回

パターンB

ブザーテスト:

パターンA

再生

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
エラー発生時	エラー発生時のブザーの設定をします。 [鳴らさない]/[一回]/[鳴らし続ける] から選択します。
オートカット駆動時	オートカット駆動時のブザーの設定をします。 [鳴らさない]/[一回](パターン A ～ E) から選択します。
指定パルス 1(2pin) 発生時	指定パルス発生時のブザーの設定をします。 [鳴らさない]/[一回](パターン A ～ E) から選択します。
指定パルス 2(5pin) 発生時	指定パルス発生時のブザーの設定をします。 [鳴らさない]/[一回](パターン A ～ E) から選択します。
ブザーテスト	ブザーテストをします。 ブザーパターンを指定して、[再生] をクリックします。

4 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。
プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

カスタマーディスプレイ

カスタマーディスプレイの設定をします。

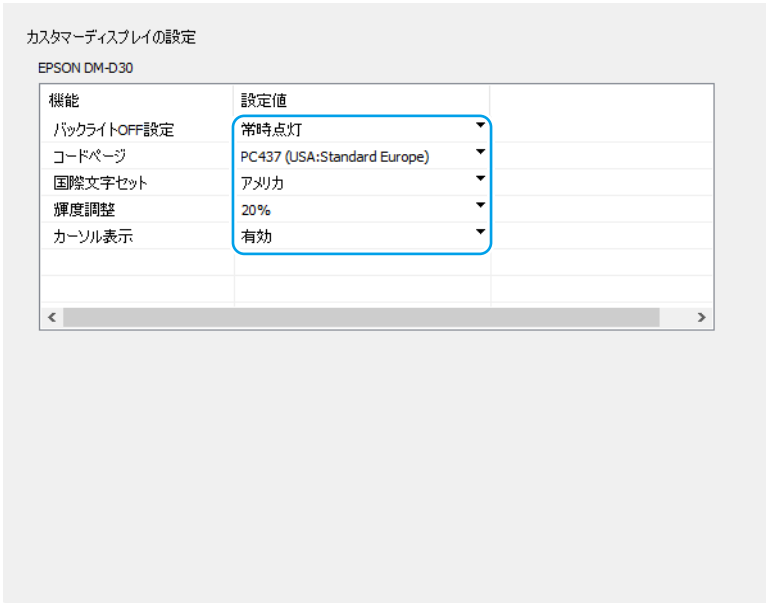
**参考**

カスタマーディスプレイを接続しないと、本ユーティリティの [カスタマーディスプレイ] は設定できません。

以下の手順で設定します。

- 1
- [メイン] - [詳細設定] - [カスタマーディスプレイ] をクリックします。
- 2
- カスタマーディスプレイの設定をします。
カスタマーディスプレイの機種により、画面が異なります。

DM-D30



設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
バックライト OFF 設定	バックライト消灯までの時間を指定します。 "0" を指定すると、常時点灯します。
コードページ	カスタマーディスプレイのコードページを選択します。
国際文字セット	カスタマーディスプレイの国際文字セットを選択します。
輝度調整	バックライトの輝度を選択します。 初期値は 100% です。
カーソル表示	画面にカーソルを表示するかどうかを選択します。

**参考**

この画面が表示される場合は、以下の対応をしてください。

- カスタマーディスプレイを検出できません。最初にプリンターとカスタマーディスプレイの接続を確認してください。次にプリンターの電源を入れなおしてから、本ユーティリティを再起動してください。
- 本ユーティリティでは設定できないカスタマーディスプレイです。

カスタマーディスプレイの設定

未接続

機能	設定値
----	-----

DM-D70

「DM-D70 Utility の実行」 ボタンが表示されるので、クリックします。DM-D70 Utility が起動します。

2



**参考**

- DM-D70 Utilityの使い方およびサポートOSは、「DM-D70 Utilityユーザーズマニュアル」を参照してください。
- この画面が表示される場合は、以下の対応をしてください。
 - * プリンターのファームウェアがDM-D70に対応していません。プリンターのファームウェアをアップデートしてください。
 - * コンピューターにDM-D70 Utilityがインストールされていません。DM-D70 Utilityをインストールしてください。

カスタマーディスプレイの設定変更は、DM-D70 Utilityで行って下さい。

DM-D70 Utilityの実行

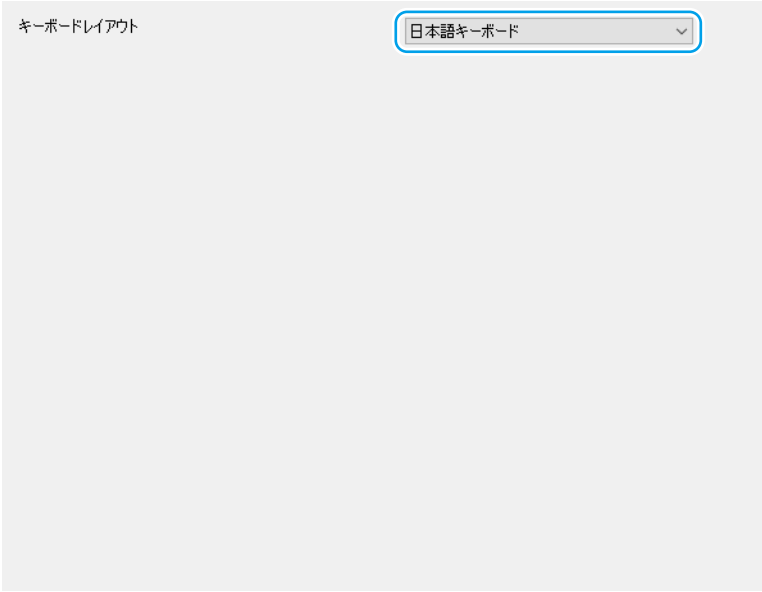
3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

バーコードスキャナー

バーコードスキャナーの設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [メイン] - [詳細設定] - [バーコードスキャナー] をクリックします。
- 2 バーコードスキャナーの設定をします。



設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
キーボードレイアウト	バーコードスキャナーのキーボードレイアウトを選択します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

インターフェイス

プリンターのインターフェイスの設定をします。このユーティリティでは、コンピューター側のポート設定はしません。

そのため、プリンターの設定をすると、プリンターと通信できなくなることがあります。

その場合、プリンタードライバーなどコンピューター側の設定をプリンターの設定に合わせてください。

以下の手順で設定します。

1 [メイン] - [詳細設定] - [インターフェイス] をクリックします。プリンターのインターフェイスを自動識別して、インターフェイスの設定画面が表示されます。

2 識別されたインターフェイスが表示されます。通信設定をします。

インターフェイス	説明	ページ
Bluetooth	Bluetooth 通信の設定および複数インターフェイスによる印刷のインターフェイスの設定を行います。	45 ページ
USB	USB 通信の設定および複数インターフェイスによる印刷のインターフェイスの設定を行います。	46 ページ
イーサネット	複数インターフェイスによる印刷のインターフェイスの設定を行います。	48 ページ

3 [プリンターへ設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

4 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、18 ページ「プリンターへの設定」を参照してください。

Bluetooth

Bluetooth 通信の設定および複数インターフェイスによる印刷のインターフェイスの設定を行います。

項目		説明
情報	BD アドレス	本製品の BD アドレスが表示されます。
設定	デバイス名	デバイス名を設定します。[編集] をクリックすると、編集画面が表示されます。初期値は、プリンターから取得したデバイス名が表示されます。
	パスキー	パスキーを設定します。[編集] をクリックすると、編集画面が表示されます。初期値は、プリンターから取得したパスキーが表示されます。
	セキュリティ	プリンターを検索する際のセキュリティレベルを設定します。 [低]、[中]、[高] から選択できます。 [低]/[中] から [高] に変更したり、[高] から [低]/[中] へ変更したりすると、ペアリングが解除されて通信できなくなります。OS 側でペアリングをやり直してください。
	iOS デバイスの自動再接続	プリンターと iOS デバイスの通信が切断された場合に、自動で再接続処理を行うかどうかを設定します。プリンターを Windows 環境で使用する場合、設定不要です。
	省電力モード時の通信間隔	省電力モード時の通信間隔を設定します。初期値は " 通常 " です。 " 短い " に設定すると、印刷開始までの時間やプリンターに接続したカスタマーディスプレイに表示されるまでの時間を短縮できます。 ただし、通信頻度が増えるため、プリンターおよびホストの消費電力は大きくなります。また、ホストによっては本設定が有効とならず、ホストが指定した通信間隔となる場合があります。
主接続インターフェイスの選択		複数インターフェイスによる印刷をする場合の、主接続のインターフェイスを選択します。
インターフェイスの切り替え待ち時間		複数インターフェイスによる印刷の後に、インターフェイスの切り替えが可能になるまでの時間を設定します。
有効なインターフェイスの選択		有効なインターフェイスを選択します。プリンターに搭載されている一部のインターフェイスを使用できないように設定できます。

項目	説明
ネットワークテザリング *	iOS デバイスのテザリングを使ってネットワークに接続する機能の有効 / 無効を設定します。プリンターを Windows 環境で使用する場合、設定不要です。

* プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。

USB

USB 通信の設定および複数インターフェイスによる印刷のインターフェイスの設定を行います。

USB

イーサネット

情報

USB デバイス:

USB デバイスのバージョン:

USB の ID:

USB の情報:

設定

USB クラス設定

☒ プリンタークラス

☐ ベンダークラス

主接続インターフェイスの選択

自動

インターフェイスの切り換え待ち時間

1秒

有効なインターフェイスの選択

全インターフェイス有効

ネットワークテザリング

無効

プリンターへ設定

項目		説明
情報	USB デバイス	USB デバイスの名前が表示されます。
	USB デバイスのバージョン	USB デバイスのバージョンが表示されます。
	USB の ID	USB デバイスの ID が表示されます。
	USB の情報	USB デバイスの詳細情報が表示されます。
設定 - USB クラス設定	プリンタークラス (初期値)	プリンターをプリンタークラスに設定します。 ベンダークラスからプリンタークラスに変更すると、新しいキューが生成されます。このキューからは Status API を使用できないため、削除して構いません。
	ベンダークラス	プリンターをベンダークラスに設定します。
主接続インターフェイスの選択		複数インターフェイスによる印刷をする場合の、主接続のインターフェイスを選択します。
インターフェイスの切り替え待ち時間		複数インターフェイスによる印刷の後に、インターフェイスの切り替えが可能になるまでの時間を設定します。
有効なインターフェイスの選択		有効なインターフェイスを選択します。プリンターに搭載されている一部のインターフェイスを使用できないように設定できます。

項目	説明
ネットワークテザリング *	iOS デバイスのテザリングを使ってネットワークに接続する機能の有効 / 無効を設定します。プリンターを Windows 環境で使用する場合、設定不要です。

* プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。

Status API を使用できるキューの見分け方

キューの [プリンターのプロパティ]-[ポート] から、" ポート " と " 説明 " を確認してください。

- プリンタークラス
ポート： USBxxx
説明： USB の仮想プリンターポート
- ベンダークラス
ポート： ESDPRTxxx
説明： USB

プリンタークラス



ベンダークラス



イーサネット

複数インターフェイスによる印刷の、インターフェイスの設定を行います。
ネットワークの設定は、本ユーティリティの [ネットワーク] から設定します。

USB

イーサネット

情報

イーサネットI/F:

MACアドレス:

ハードウェアバージョン:

ソフトウェアバージョン:

ネットワークの設定変更は、「ネットワーク」メニューで行ってください。

主接続インターフェイスの選択

自動

インターフェイスの切り換え待ち時間

1秒

有効なインターフェイスの選択

全インターフェイス有効

ネットワークテザリング

無効

プリンターへ設定

項目		説明
情報	イーサネット I/F	イーサネットインターフェイスの種類が表示されます。
	MAC アドレス	イーサネットインターフェイスの MAC アドレスが表示されます。
	ハードウェアバージョン	イーサネットインターフェイスのハードウェアバージョンが表示されます。
	ソフトウェアバージョン	イーサネットインターフェイスのソフトウェアバージョンが表示されます。
主接続インターフェイスの選択		複数インターフェイスによる印刷をする場合の、主接続のインターフェイスを選択します。 イーサネットモデルでは、イーサネットおよび USB インターフェイスを使用できます。主接続インターフェイスに設定すると、受信データ処理の優先順位が高くなり、印刷開始までの時間が短くなります。 複数インターフェイスを使用する場合は、受信バッファ容量を 4KB(初期設定値)に設定してください。(36ページ「印刷制御」参照)
インターフェイスの切り替え待ち時間		複数インターフェイスによる印刷後に、インターフェイスの切り替えが可能になるまでの時間を設定します。
有効なインターフェイスの選択		有効なインターフェイスを選択します。プリンターに搭載されている一部のインターフェイスを使用できないように設定できます。
ネットワークテザリング *		iOS デバイスのテザリングを使ってネットワークに接続する機能の有効 / 無効を設定します。プリンターを Windows 環境で使用する場合、設定不要です。

* プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。

プリンター登録

デバイス ID の設定をします。以下のインテリジェント機能および Epson ePOS SDK で使用します。

**参考**

本項目は、プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。

- ePOS-Print XML
- サーバーダイレクト印刷
- ステータス通知

[インテリジェント機能] - [デバイス管理] - [プリンター登録] で表示します。

ネットワークプリンター 1/1

ステータス	デバイス ID	型番	IPアドレス
☒ 	local_printer	TM- 	
☐			
☐			
☐			
☐			
☐			
☐			
☐			
☐			
☐			

変更

テスト印刷

項目	説明
ネットワークプリンター	現在の設定が表示されます。
ステータス	プリンターのステータスが表示されます。 🔵: 登録済みプリンター 🟡: 編集中のプリンター
デバイス ID	プリンターのデバイス ID が表示されます。
型番	プリンターから取得した型番が表示されます。
IP アドレス	プリンターから取得した IP アドレスが表示されます。
変更	[変更] をクリックすると、" 変更 " 画面が表示されます。
テスト印刷	[テスト印刷] をクリックすると、テスト印刷します。

デバイス ID の変更は、以下の手順で行います。

- 1 [インテリジェント機能] - [デバイス管理] - [プリンター登録] をクリックします。
- 2 現在の設定が表示されます。[変更] をクリックします。
- 3 "変更" 画面が表示されます。デバイス ID を変更します。

The screenshot shows a dialog box titled "変更" (Change) with a close button (X) in the top right corner. Inside the dialog, there is a table with two columns: "型番" (Model Number) and "IPアドレス" (IP Address). Below the table, there are three input fields: "デバイス ID" (Device ID) with the value "local_printer", "型番" (Model Number) with a dropdown menu showing "P1000-00000000", and "IPアドレス" (IP Address) with the value "127 . 0 . 0 . 1". At the bottom of the dialog, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

- 4 設定後、[OK] をクリックします。
- 5 デバイス ID が変更されます。ステータスが [編集集中のプリンター] 変わります。
- 6 プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

キー入力デバイス

キー入力デバイスの設定をします。
以下の手順で設定します。

 参考

本項目は、プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。

- 1 [インテリジェント機能] - [デバイス管理] - [キー入力デバイス] をクリックします。
- 2 キー入力デバイスの設定をします。

キー入力デバイス一覧1/1

ステータス	デバイス ID	ベンダー名	製品名	VID & PID	インターフェイス番号	制御スクリプト
☒	local_scanner	DENSO WAV...	USB Device...	0x076d ...	0	Scanner_Gener

変更

キーボードレイアウト英語キーボード(US)

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
キー入力デバイス一覧	現在の設定が表示されます。
ステータス	キー入力デバイスのステータスが表示されます。 🟢: 登録済みキー入力デバイス 🟡: 編集中のキー入力デバイス
デバイス ID	キー入力デバイスのデバイス ID が表示されます。
ベンダー名	キー入力デバイスのベンダー名が表示されます。
製品名	キー入力デバイスの製品名が表示されます。
VID & PID	キー入力デバイスの VID & PID が表示されます。
インターフェイス番号	プリンターが保持しているインターフェイス番号が表示されます。
制御スクリプト	キー入力デバイスを制御する制御スクリプトが表示されます。
変更	[変更] をクリックすると、" 変更 " 画面が表示されます。
キーボードレイアウト	キーボードタイプを選択します。

- 3 [設定] をクリックします。

ePOS-Print

ePOS-Print の設定をします。
以下の手順で設定します。

 **参考**

- 本項目は、プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。
- 以下の機能が有効になっている場合、ePOS-Print を無効にできません。
 - * ePOS-Device
 - * 迂回印刷
 - * サーバーダイレクト印刷
 - * ステータス通知

- 1 [インテリジェント機能] - [ePOS-Print] をクリックします。
- 2 ePOS-Print の設定をします。

☒ ePOS-Printを有効にする

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
ePOS-Print を有効にする	ePOS-Print の有効 / 無効を設定します。

- 3 [設定] をクリックします。

ePOS-Device

ePOS-Device の設定をします。
以下の手順で設定します。

 参考

本項目は、プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。

- 1 [インテリジェント機能] - [ePOS-Device] をクリックします。
- 2 ePOS-Device の設定をします。



設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
ePOS-Device を有効にする	ePOS-Device の有効 / 無効を設定します。

- 3 [設定] をクリックします。ePOS-Print が有効になっていない場合は、メッセージが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

迂回印刷

迂回印刷の設定をします。
以下の手順で設定します。

 **参考**

本項目は、プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。

- 1 [インテリジェント機能] - [迂回印刷] をクリックします。
- 2 迂回印刷の有効 / 無効を指定します。また、迂回印刷を有効にした場合、迂回印刷の動作設定をします。

☒ 迂回印刷 (スプーラー)

迂回前の再試行

回数

間隔 秒

☒ 迂回メッセージ

オプション

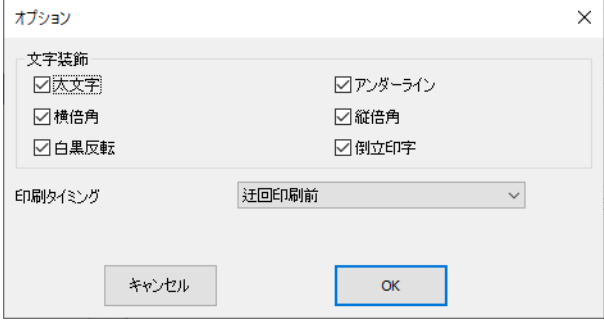
用紙カット

迂回先プリンターリスト

印刷先プリンター	迂回先プリンター1	迂回先プリンター2
local_printer	なし	なし

設定項目は以下のとおりです。

項目			説明
迂回印刷 (スプーラー)			迂回印刷の有効 / 無効を指定します。
	迂回前の再試行	回数	迂回印刷する前の、再試行回数を指定します。
		間隔	迂回印刷する前の、再試行間隔を指定します。

項目		説明
迂回メッセージ		迂回メッセージの有効 / 無効を指定します。 有効にした場合、迂回処理時に印字される、通知メッセージ入力します。
	オプション	迂回処理時に印字されるメッセージの、文字装飾や印刷タイミングを設定します。 
用紙カット		用紙カットする / しないを選択します。
迂回先プリンターリスト		迂回先プリンターのリストを表示します。 迂回先プリンターは、プリンターのデバイス ID ごとに設定できます。 [印刷先プリンター] から印刷できない場合、[迂回先プリンター 1] から印刷します。 [迂回先プリンター 1] から印刷できない場合、[迂回先プリンター 2] から印刷します。

3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

サーバーダイレクト印刷

サーバーダイレクト印刷の設定をします。
以下の手順で設定します。

**参考**

本項目は、プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。

- 1
- [インテリジェント機能] - [サーバーアクセス] - [サーバーダイレクト印刷]をクリックします。
- 2
- サーバーダイレクト印刷の設定をします。

☒サーバーダイレクト印刷

☒サーバー1

URL

更新間隔 秒

☒サーバー2

URL

更新間隔 秒

☒サーバー3

URL

更新間隔 秒

*http://もしくは、*https://で始めてください。

ID

パスワード

URLエンコード

有効

識別名

予約カットのタイムアウト時間 秒

サーバー認証

無効

設定項目は以下のとおりです。

項目		説明
サーバーダイレクト印刷		サーバーダイレクト印刷の有効 / 無効を指定します。
サーバー 1	サーバー 1	サーバー 1 の有効 / 無効を指定します。
	URL	印刷データの取得先 URL を入力します。
	更新間隔	印刷データの取得終了後から、次の印刷データ取得までの待機時間を入力します。
サーバー 2	サーバー 2	サーバー 2 の有効 / 無効を指定します。
	URL	印刷データの取得先 URL を入力します。
	更新間隔	印刷データの取得終了後から、次の印刷データ取得までの待機時間を入力します。
サーバー 3	サーバー 3	サーバー 3 の有効 / 無効を指定します。
	URL	印刷データの取得先 URL を入力します。
	更新間隔	印刷データの取得終了後から、次の印刷データ取得までの待機時間を指定します。

2

56

項目		説明
	ID	ID を入力します。 この ID は、Digest 認証で使用するユーザー ID になります。
	パスワード	パスワードを入力します。 このパスワード ID は、Digest 認証で使用するパスワードになります。
	URL エンコード	URL エンコードの有効 / 無効を選択します。
	識別名	Web サーバー側で本プリンターを識別するための識別名を入力します。
	予約カットのタイムアウト時間	予約カットのタイムアウト時間を指定します。 ネットワークプリンターの TM-T90KP から、印刷していない伝票が出る場合に設定してください。
	サーバー認証	サーバー認証の有効 / 無効を選択します。 サーバー認証をする際の証明書は、[ネットワーク]-[詳細設定]-[証明書] で登録します。 71 ページ「証明書」 を参照

- 2
- 3** 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
- プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

ステータス通知

ステータス通知の設定をします。
以下の手順で設定します。

**参考**

本項目は、プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。

- 1
- [インテリジェント機能] - [サーバーアクセス] - [ステータス通知] をクリックします。
- 2
- ステータス通知の設定をします。

☒ ステータス通知

通知先サーバー

URL

http://もしくは、https://で始めてください。

ID

パスワード

....

通知間隔

5

秒

URL エンコード

有効

識別名

test

サーバー認証

無効

設定項目は以下のとおりです。

項目			説明
ステータス通知			ステータス通知の有効 / 無効を指定します。
通知先サーバー	URL		ステータスを通知する通知先サーバーの URL を入力します。
	ID		ID を入力します。 この ID は、Digest 認証で使用するユーザー ID になります。
	パスワード		パスワードを入力します。 このパスワード ID は、Digest 認証で使用するパスワードになります。
通知間隔			ステータス通知終了から、次の通知を出すまでの待機時間を指定します。
URL エンコード			URL エンコードの有効 / 無効を選択します。
識別名			Web サーバー側で本プリンターを識別するための識別名を入力します。
サーバー認証			サーバー認証の有効 / 無効を選択します。 サーバー認証をする際の証明書は、[ネットワーク]-[詳細設定]-[証明書]で登録します。 71 ページ「証明書」 を参照

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

プロキシ

プロキシサーバーの設定をします。
以下の手順で設定します。

**参考**

本項目は、プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。

- 1
- [インテリジェント機能] - [サーバーアクセス] - [プロキシ] をクリックします。
- 2
- プロキシサーバーの設定をします。

☒ プロキシ

プロキシサーバー

URL

http://もしくは、https://で始めてください。

ID

パスワード

ポート

プロキシを有効にするサービス

サービス	プロキシ	
サーバーダイレクト印刷	無効	▼
ステータス通知	無効	▼
印刷データ転送	無効	▼

2

設定項目は以下のとおりです。

項目			説明
プロキシ			プロキシの有効 / 無効を指定します。
プロキシサーバー	URL	URL	プロキシサーバーの URL を入力します。
		ID	プロキシ認証のための ID を入力します。 この ID は、Digest 認証で使用するユーザー ID になります。
		パスワード	プロキシ認証のためのパスワードを入力します。 このパスワード ID は、Digest 認証で使用するパスワードになります。
		ポート	プロキシサーバーのポートを指定します。
プロキシを有効にするサービス	サーバーダイレクト印刷	サーバーダイレクト印刷	サーバーダイレクト印刷でプロキシを使用するか選択します。
		ステータス通知	ステータス通知でプロキシを使用するか選択します。
		印刷データ転送	印刷データ転送でプロキシを使用するか選択します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

IP アドレス

IP アドレスを設定します。

**重要**

- プリンターをネットワークに接続する前に、[時刻設定] で、プリンターの時刻を設定してください。詳細は、[80 ページ「時刻設定」](#)を参照してください。
- イーサネット接続しているプリンターの IP アドレスの設定を変更すると、プリンターと通信できなくなります。この場合は、USB で接続するか、本ユーティリティーを再起動して通信ポートの選択からやり直してください。詳細は、[15 ページ「通信ポートを追加してユーティリティーを起動する」](#)を参照してください。

以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [基本設定] - [IP アドレス] をクリックします。
- 2 IP アドレスを設定します。

IPアドレス

☐ 自動

☐ プライベートIP自動指定 (APIPA) による設定

☒ 確定したIPアドレスを印刷する

☒ 手動

IPアドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

☐ PINGによる設定

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
自動	IP アドレスを自動で設定します。 本製品の電源を入れてから一定時間経過しても設定されない場合は、以下の IP アドレスが一時的に設定されます。 192.168.192.168
プライベート IP 自動指定 (APIPA) による設定	APIPA の有効 / 無効を指定します。
確定した IP アドレスを印刷する	確定した IP アドレスの印刷の有効 / 無効を指定します。 有効にすると、本製品に IP アドレスが設定されると、IP アドレス、SubnetMask、Gateway および DHCP のステータスを印刷します。

項目	説明
手動	IP アドレス / サブネットマスク / デフォルトゲートウェイを手動で設定します。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。
PING による設定	PING による設定の有効 / 無効を指定します。

- 3
- 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

DNS

DNS を設定します。
以下の手順で設定します。

- 1
- [ネットワーク] - [基本設定] - [DNS] をクリックします。
- 2
- DNS を設定します。

DNSサーバー

☐ 自動

☒ 手動

DNSサーバー1

0 . 0 . 0 . 0

DNSサーバー2

0 . 0 . 0 . 0

DNSサーバー3

0 . 0 . 0 . 0

ホスト名とドメイン名の設定

☐ 自動

☒ 手動

ホスト名

ドメイン名

☐ DDNSを有効にする

設定項目は以下のとおりです。

項目		説明
DNS サーバー	自動	DNS サーバーを自動で設定します。
	手動	DNS サーバーを手動で設定します。
		DNS サーバー 1 の IP アドレスを入力します。
		DNS サーバー 2 の IP アドレスを入力します。
		DNS サーバー 3 の IP アドレスを入力します。
ホスト名と ドメイン名 の設定	自動	ホスト名とドメイン名を自動で設定します。
	手動	ホスト名とドメイン名を手動で設定します。
		ホスト名を入力します。
		ドメイン名を入力します。
	DDNS を有効にする	Dynamic DNS を有効にするか指定します。

- 3
- 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。
プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映
されます。
プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

Wi-Fi

Wi-Fi を設定します。
以下の手順で設定します。

- 1
- [ネットワーク] - [基本設定] - [Wi-Fi] をクリックします。
- 2
- Wi-Fi を設定します。

バンド

OT-WL06 (2.4 / 5GHz帯)

通信モード

インフラストラクチャー

SSID

TeamUtility

通信規格

自動

チャンネル

セキュリティタイプ

WPA2-PSK

PSK(事前共有キー)

編集

☐ 省電力:無効にすると、消費電力が増加します

☐ SimpleAP モード

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
バンド	無線 LAN の周波数帯を設定します。 ご使用の無線 LAN インターフェイスを選択してください。
通信モード	無線 LAN の通信モードを設定します。
SSID	SSID を入力します。
通信規格	無線 LAN の通信規格を選択します。
チャンネル	通信モードに「アドホック」を選択して、通信規格に「自動」以外を選択した場合に、チャンネルを選択します。

項目		説明
セキュリティタイプ		暗号化の方式を選択します。選択した暗号化方式によって、暗号化キーを入力してください。
なし		暗号化キーを設定しません。
WEP (64bit)	使用する WEP キー	使用する WEP キーを選択します。
	WEP キー (1)	WEP キー (1) を入力します。
	WEP キー (2)	WEP キー (2) を入力します。
	WEP キー (3)	WEP キー (3) を入力します。
	WEP キー (4)	WEP キー (4) を入力します。
	アクセスポイント 認証方式	アクセスポイント認証方式を選択します。
WEP (128bit)	使用する WEP キー	使用する WEP キーを選択します。
	WEP キー (1)	WEP キー (1) を入力します。
	WEP キー (2)	WEP キー (2) を入力します。
	WEP キー (3)	WEP キー (3) を入力します。
	WEP キー (4)	WEP キー (4) を入力します。
	アクセスポイント 認証方式	アクセスポイント認証方式を選択します。
WPA-PSK (AES)	PSK (事前共有キー)	PSK(事前共有キー)を入力します。
WPA2-PSK	PSK (事前共有キー)	PSK(事前共有キー)を入力します。
WPA2- Enterprise	認証方式	認証方式を選択します。
	詳細設定	クライアント認証設定 / サーバー認証設定をします。 詳細は 67 ページ「WPA2-Enterprise の設定」 を参照してください。
	暗号強度	暗号強度を選択します。
省電力		省電力機能の有効 / 無効を設定します。
SimpleAP モード		SimpleAP モードの有効 / 無効を設定します。

3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#) を参照してください。

WPA2-Enterprise の設定

WPA2-Enterprise の設定をします。

ここでは、あらかじめ登録された証明書を選択します。証明書の登録方法は、[71 ページ「証明書」](#)を参照してください。

- 1 Wi-Fi 画面の [セキュリティタイプ] で、[WPA2-Enterprise] を選択すると、以下の画面が表示されます。



The image shows a Wi-Fi configuration interface. The 'セキュリティタイプ' (Security Type) dropdown is highlighted with a blue border and shows 'WPA2-Enterprise'. Below it, the '認証方式' (Authentication Method) is set to 'EAP-TLS'. A button labeled '詳細設定' (Detailed Settings) is visible. The '暗号強度' (Encryption Strength) is set to '中' (Medium). At the bottom, there are checkboxes for '省電力' (Power Saving) and 'SimpleAP モード' (SimpleAP Mode), with 'SimpleAP モード' being checked.

バンド	OT-WL06 (2.4 / 5GHz帯)
通信モード	インフラストラクチャー
SSID	[Redacted]
通信規格	IEEE 802.11a/n/ac
チャンネル	[Redacted]
セキュリティタイプ	WPA2-Enterprise
認証方式	EAP-TLS
詳細設定	
暗号強度	中
☐ 省電力	
☒ SimpleAP モード	

- 2 認証方式を選択します。
- 3 [詳細設定] をクリックすると、詳細設定画面が表示されます。

4 認証方式に応じて、クライアント認証設定とサーバー認証設定をします。
認証方式によって画面が異なります。

EAP-TLS の場合

EAP-TLS

クライアント認証設定

ユーザー名

クライアント証明書

発行先 (CN)	組織名	有効期限終了日時
☒		
☐		

サーバー認証設定

☐サーバー認証を有効にする

☐サーバー名を指定する

サーバー名

サーバー証明書

発行先 (CN)	組織名	有効期限終了日時
☒		
☐		

OK

キャンセル

認証方式	項目		説明
EAP-TLS	クライアント 認証設定	ユーザー名	ユーザー名を入力します。
		クライアント 証明書	本製品に登録済みのクライアント証明書がリスト に表示されます。使用する証明書を選択します。
	サーバー認証 設定	サーバー認証を 有効にする	サーバー認証の有効 / 無効を設定します。
		サーバー名を 指定する	サーバー名の指定の有効 / 無効を設定します。
		サーバー名	認証サーバー名を入力します。
		サーバー証明書	本製品に登録済みのサーバー証明書がリストに表 示されます。 使用する証明書を選択します。

認証方式	項目		説明
PEAP-TLS	クライアント 認証設定	ユーザー名	ユーザー名を入力します。
		匿名を使用する	匿名の使用の有効 / 無効を設定します。
		匿名	匿名を入力します。
		クライアント 証明書	本製品に登録済みのクライアント証明書がリスト に表示されます。使用する証明書を選択します。
	サーバー認証 設定	サーバー認証を 有効にする	サーバー認証の有効 / 無効を設定します。
		サーバー名を 指定する	サーバー名の指定の有効 / 無効を設定します。
		サーバー名	認証サーバー名を入力します。
		サーバー証明書	本製品に登録済みのサーバー証明書がリストに表 示されます。 使用する証明書を選択します。
PEAP -MSCHAPv2	クライアント 認証設定	ユーザー名	ユーザー名を入力します。
		匿名を使用する	匿名の使用の有効 / 無効を設定します。
		匿名	匿名を入力します。
		パスワード	パスワードを入力します。
	サーバー認証 設定	サーバー認証を 有効にする	サーバー認証の有効 / 無効を設定します。
		サーバー名を 指定する	サーバー名の指定の有効 / 無効を設定します。
		サーバー名	認証サーバー名を入力します。
		サーバー証明書	本製品に登録済みのサーバー証明書がリストに表 示されます。 使用する証明書を選択します。

- 5 暗号強度を設定します。
- 6 設定後、[OK] をクリックします。

ePOS-Print

ePOS-Print を有効にして、デバイス ID を設定します。
以下の手順で設定します。

**参考**

本項目は、プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。

- 1 [ネットワーク] - [詳細設定] - [ePOS-Print] をクリックします。
- 2 ePOS-Print の設定をします。

☒ ePOS-Printを有効にする

デバイス ID

local_printer

☐ ePOS-Deviceを有効にする

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
ePOS-Print を有効にする	ePOS-Print の有効 / 無効を設定します。
デバイス ID	プリンターにデバイス ID を設定します。
ePOS-Device を有効にする	ePOS-Device の有効 / 無効を設定します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。
プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映
されます。
プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

証明書

本製品で使用する証明書の管理をします。証明書を登録 / 削除したり、自己署名証明書を発行したりできます。証明書画面は、[ネットワーク] - [詳細設定] - [証明書] で表示します。

**参考**

- あらかじめ登録する証明書を、ローカル環境に用意してください。
- 登録可能な証明書数は以下のとおりです。
 - * 鍵付証明書 : 3 個
 - * 自己署名証明書 : 1 個
 - * 証明書 : 10 個

鍵付証明書0/3

発行先 (CN)	組織名	有効期限開始...	有効期限終了...	ステータス

自己署名証明書インポート削除

証明書0/10

発行先 (CN)	組織名	有効期限開始...	有効期限終了...	ステータス

インポート削除

設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
証明書リスト	プリンターに登録済みの証明書を表示します。
発行先 (CN)	証明書の発行先を表示します。
組織名	証明書の組織名を表示します。
有効期限開始日時	証明書の有効期限の開始日時を表示します。
有効期間終了日時	証明書の有効期間の終了日時を表示します。
ステータス	証明書のステータスを表示します。
自己署名証明書	自己署名証明書を登録します。(73 ページ)
インポート	証明書をインポートします。
削除	証明書リストに登録されている証明書を削除します。

証明書の登録

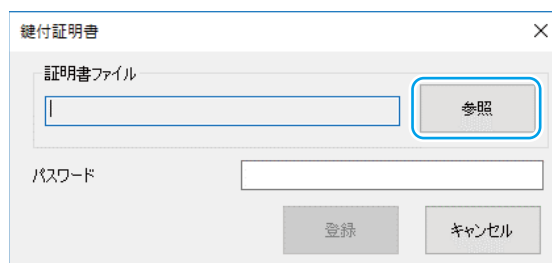
登録する証明書の種類は以下のとおりです。

- 鍵付証明書 (72 ページ)
- 自己署名証明書 (73 ページ)
- 証明書 (74 ページ)

鍵付証明書

鍵付証明書の登録は、以下の手順で設定します。

- 1 [インポート] をクリックします。
- 2 “鍵付証明書” 画面が表示されます。[参照] をクリックし、インポートする鍵付証明書を選択します。



- 3 必要に応じてパスワードを入力し、[登録] をクリックします。
- 4 鍵付証明書リストに、証明書が登録されたことを確認します。
- 5 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、18 ページ「プリンターへの設定」を参照してください。

自己署名証明書

プリンターが、デバイスなどに発行する証明書です。
自己署名証明書の登録は、以下の手順で設定します。

- 1 [自己署名証明書] をクリックします。
- 2 “ 自己署名証明書 ” 画面が表示されます。自己署名証明書の設定をして、[OK] をクリックします。

自己署名証明書

公開鍵長 2048

発行先 (CN)

組織名 SEIKO EPSON CORP.

有効期限開始日時 (YYYY-MM-DD) 2020 - 1 - 6

有効期間 1 年

OK キャンセル

設定項目は以下のとおりです。

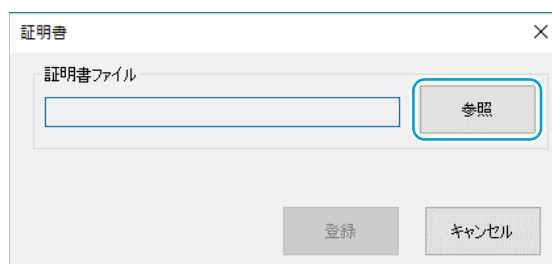
項目	機能
公開鍵長	2048 bit (固定)
発行先	自己署名証明書を発行するプリンターを入力します。 例：ホスト名、IP アドレスなど
組織名	SEIKO EPSON CORP. (固定)
有効期限開始日時 (YYYY-MM-DD)	自己署名証明書の有効期限開始日時を指定します。
有効期間	自己署名証明書の有効期間を指定します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、 [18 ページ「プリンターへの設定」](#) を参照してください。

証明書

証明書の登録は、以下の手順で設定します。

- 1 [インポート] をクリックします。
- 2 “証明書” 画面が表示されます。[参照] をクリックし、インポートする証明書を選択します。



- 3 [登録] をクリックします。
- 4 証明書リストに、証明書が登録されたことを確認します。
- 5 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

証明書の削除

証明書を入れ替えた場合、使用しない証明書を削除します。

- 1 証明書の証明書リストから、使用しない証明書を選択し、[削除] をクリックします。
- 2 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

SSL/TLS

SSL/TLS で使用する SSL サーバー証明書を設定します。
以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [詳細設定] - [SSL/TLS] をクリックします。
- 2 SSL/TLS で使用する証明書を設定します。

証明書一覧

ID	発行先 (CN)	組織名	有効期限開始日時	有効期限終了日時
0				

証明書の選択

0

TLS バージョン

すべて (TLS1.0,TLS1.1,TLS1.2)

暗号強度

中

☐ HTTPS通信を強制する

☐ HTTPのHTTPSへのリダイレクト

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
証明書一覧	登録済みの証明書がリスト形式で表示されます。
証明書の選択	SSL サーバー証明書を選択します。証明書一覧から、使用する証明書の ID を選択します。 選択した ID の証明書が、SSL サーバー証明書になります。 証明書はあらかじめ登録しておきます。 証明書の登録方法は、 71 ページ「証明書」 を参照してください。
TLS バージョン	TLS バージョンを選択します。
暗号強度	暗号強度を選択します。
HTTPS 通信を強制する	HTTPS 通信のみ行います。HTTP 通信は行いません。
HTTP の HTTPS へのリダイレクト	HTTPのHTTPSへのリダイレクトをする場合にチェックします。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。
プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

イーサネット

ネットワークケーブルの通信規格を設定します。
以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [詳細設定] - [イーサネット] をクリックします。
- 2 ネットワークケーブルの通信規格を設定します。



設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
自動	ネットワークケーブルの通信規格の設定を自動に指定にします。
手動	ネットワークケーブルの通信規格の設定を手動に指定にします。 ネットワークケーブルの通信規格を選択します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。
プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#) を参照してください。

SNMP

SNMP の設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1
- [ネットワーク] - [詳細設定] - [SNMP] をクリックします。
- 2
- コミュニティ名と IP トラップの設定をします。

コミュニティ

Read Only

Read/Write

Well-knownコミュニティ名

有効

IPトラップ

IPトラップ1

IPアドレス

コミュニティ

0 . 0 . 0 . 0

IPトラップ2

IPアドレス

コミュニティ

0 . 0 . 0 . 0

設定項目は以下のとおりです。

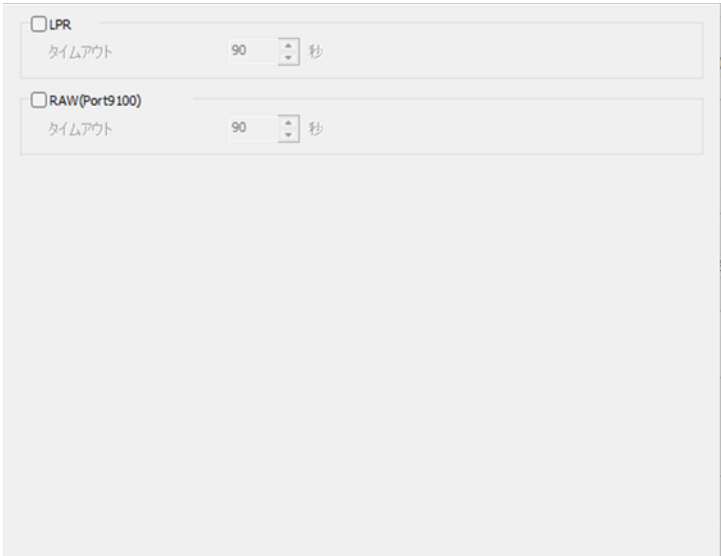
項目		説明
コミュニティ	Read Only	読み出し専用のコミュニティ名を入力します。
	Read/Write	読み書き可能なコミュニティ名を入力します。
	Well-known コミュニティ名	Well-known コミュニティ名の有効 / 無効を指定します。
IP トラップ	IP トラップ 1	
		IP トラップ 1 の有効 / 無効を指定します。
	IP アドレス	IP トラップの通知先の IP アドレスを入力します。
	コミュニティ	コミュニティ名を入力します。
	IP トラップ 2	
		IP トラップ 2 の有効 / 無効を指定します。
	IP アドレス	IP トラップの通知先の IP アドレスを入力します。
	コミュニティ	コミュニティ名を入力します。

- 3
- 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

タイムアウト

タイムアウトの設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [詳細設定] - [タイムアウト] をクリックします。
- 2 LPR ポート /RAW ポートのタイムアウトを設定します。



設定項目は以下のとおりです。

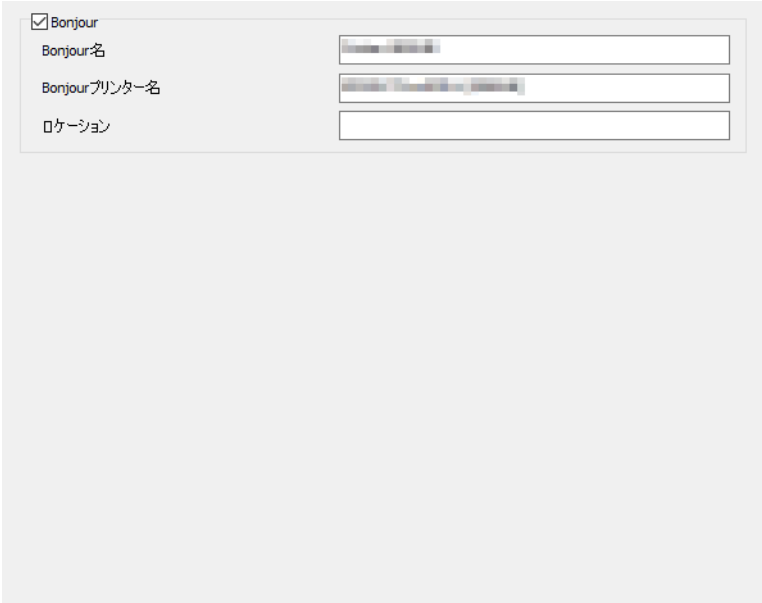
項目	説明
LPR	LPR ポートの有効 / 無効を指定します。
タイムアウト	LPR ポートのタイムアウトを指定します。
RAW (Port9100)	RAW ポートの有効 / 無効を指定します。
タイムアウト	RAW ポートのタイムアウトを指定します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

Bonjour

Bonjour の設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [詳細設定] - [Bonjour] をクリックします。
- 2 Bonjour の設定をします。



設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
Bonjour	Bonjour の有効 / 無効を指定します。
Bonjour 名	Bonjour 名を入力します。
Bonjour プリンター名	Bonjour プリンター名を入力します。
ロケーション	ロケーションを入力します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

時刻設定

タイムサーバーの指定と時差の設定、または現在時刻と時差の設定をします。



重要

プリンターをネットワークに接続する前に、プリンターの時刻を設定してください。

以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [詳細設定] - [時刻設定] をクリックします。
- 2 タイムサーバーの登録と時差の設定、または現在時刻と時差を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

項目		説明
タイムサーバー		タイムサーバーの有効 / 無効を指定します。
	アドレス	タイムサーバーのアドレスを入力します。
	更新間隔	タイムサーバーアクセスの更新間隔を指定します。
現在時刻を変更する		現在時刻と UTC との時差を設定します。タイムサーバーを利用する場合も、UTC との時差をここで設定します。
	現在の日付と時間	プリンターに設定しようとしている、日付とローカル時刻を表示します。
UTC	YYYY-MM-DD	年月日を指定します。タイムサーバーが指定されている場合は、タイムサーバーからの日付が優先されて、本設定は反映されません。
	hh:mm	UTC 時間で時刻を指定します。タイムサーバーが指定されている場合は、タイムサーバーからの時刻が優先されて、本設定は反映されません。
	時差	UTC との時差を指定します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

プロキシ

プロキシサーバーの設定をします。
以下の手順で設定します。

**参考**

本項目は、プリンターに機能が搭載されている場合に表示されます。

- 1
- [ネットワーク] - [詳細設定] - [プロキシ] をクリックします。
- 2
- プロキシサーバーの設定をします。

☒ プロキシ

プロキシサーバー

URL

*http://もしくは、*https://で始めてください。

ID

パスワード

ポート

設定項目は以下のとおりです。

項目			説明
プロキシ			プロキシの有効 / 無効を指定します。
プロキシサーバー	URL		プロキシサーバーの URL を入力します。
	ID		プロキシ認証のための ID を入力します。 この ID は、Digest 認証で使用するユーザー ID になります。
	パスワード		プロキシ認証のためのパスワードを入力します。 このパスワード ID は、Digest 認証で使用するパスワードになります。
	ポート		プロキシサーバーのポートを指定します。

- 3
- 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。
プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

フィルタリング

特定の IP アドレスとの通信を許可 / 拒否したり、サービスの有効 / 無効を制御したりする IP フィルターを設定します。

以下の手順で設定します。

- 1
- 「ネットワーク」-「詳細設定」-「フィルタリング」をクリックします。
- 2
- IP フィルターを設定します。

☒ IPフィルター

☒ 許可するIPアドレスを設定する

☐ 拒否するIPアドレスを設定する

開始アドレス	終了アドレス	
0.0.0.0	0.0.0.0	
0.0.0.0	0.0.0.0	
0.0.0.0	0.0.0.0	
0.0.0.0	0.0.0.0	
0.0.0.0	0.0.0.0	

編集

補足

[0.0.0.0] - [0.0.0.0] : 使用しないフィルターです。

[x.x.x.x] - [y.y.y.y] : 指定した範囲をフィルターします。

[x.x.x.x] - [0.0.0.0] : [x.x.x.x]のみフィルターします。

ポートフィルター

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
IP フィルター	IP フィルターの有効 / 無効を指定します。
許可する IP アドレスを設定する	通信を許可する IP アドレスを指定します。 IP フィルターリストは通信を許可する IP アドレスのリストになります。IP フィルターリストで設定した IP アドレスのみ通信できます。
拒否する IP アドレスを設定する	通信を拒否する IP アドレスを指定します。 IP フィルターリストは通信を拒否する IP アドレスのリストになります。IP フィルターリストで設定した IP アドレスからは通信できません。

項目	説明																		
IP フィルターリスト	設定した IP フィルターが表示されます。 IP フィルターは 5 つ設定できます。 <table><tr><th>開始アドレス</th><th>終了アドレス</th><th></th></tr><tr><td>163.123.145.197</td><td>163.123.145.200</td><td></td></tr><tr><td>163.123.145.210</td><td>0.0.0.0</td><td></td></tr><tr><td>0.0.0.0</td><td>0.0.0.0</td><td></td></tr><tr><td>0.0.0.0</td><td>0.0.0.0</td><td></td></tr><tr><td>0.0.0.0</td><td>0.0.0.0</td><td></td></tr></table> x.x.x.x - y.y.y.y : 指定した範囲をフィルターします。 (例: 163.123.145.197 から 163.123.145.200 をフィルターする) x.x.x.x - 0.0.0.0 : x.x.x.x フィルターします。 (例: 163.123.145.210 をフィルターする) 0.0.0.0 - 0.0.0.0 : 未設定	開始アドレス	終了アドレス		163.123.145.197	163.123.145.200		163.123.145.210	0.0.0.0		0.0.0.0	0.0.0.0		0.0.0.0	0.0.0.0		0.0.0.0	0.0.0.0	
開始アドレス	終了アドレス																		
163.123.145.197	163.123.145.200																		
163.123.145.210	0.0.0.0																		
0.0.0.0	0.0.0.0																		
0.0.0.0	0.0.0.0																		
0.0.0.0	0.0.0.0																		
編集	フィルターする IP アドレスの範囲を設定します。 IP フィルターリストからフィルターを選択し、[編集] をクリックすると " 編集 " 画面が表示されます。 フィルターする IP アドレスを入力します。IP アドレスの範囲を指定する場合は、小さい値を開始アドレスに、大きい値を終了アドレスに入力します。 入力したアドレスが有効でない場合や、[OK] をクリックすると " 編集 " 画面が閉じ、IP フィルターリストに設定が反映されます。 編集 × フィルターするIPアドレスの範囲を入力してください。 1 . 0 . 0 . 0 ~ 0 . 0 . 0 . 0 OK キャンセル																		

項目	説明																																
ポートフィルター	ポートフィルターを設定します。 ポートフィルター <table><tr><th>ポート番号</th><th>プロトコル</th><th>フィルター</th><th></th></tr><tr><td>80</td><td>HTTP</td><td>無効</td><td>▼</td></tr><tr><td>443</td><td>HTTPS</td><td>無効</td><td>▼</td></tr><tr><td>515</td><td>LPR</td><td>無効</td><td>▼</td></tr><tr><td>9100</td><td>Printing</td><td>無効</td><td>▼</td></tr><tr><td>161</td><td>SNMP</td><td>無効</td><td>▼</td></tr><tr><td>3289</td><td>ENPC</td><td>無効</td><td>▼</td></tr><tr><td>5353</td><td>Bonjour</td><td>無効</td><td>▼</td></tr></table>  ポートフィルターを有効にする場合、以下の制限事項があります。 ・無効にしたポートを使用しているプリンタードライバー、設定アプリケーションが利用できません。 ・ネットワークでの設定変更ができなくなる可能性があります。 ・ネットワークでの設定変更ができなくなった場合、USB で変更を行うか、またはネットワーク設定の初期化を行ってください。 ・通信速度が低下します。 OKキャンセル ポートフィルターを有効にする場合、以下の制限事項があります。 - 無効にしたポートを使用しているプリンタードライバー、設定アプリケーションが利用できなくなります。 - ネットワークでの設定変更ができなくなる可能性があります。 ネットワークでの設定変更ができなくなった場合、USB で変更を行うか、またはネットワーク設定の初期化を行ってください。 - 通信速度が低下します。	ポート番号	プロトコル	フィルター		80	HTTP	無効	▼	443	HTTPS	無効	▼	515	LPR	無効	▼	9100	Printing	無効	▼	161	SNMP	無効	▼	3289	ENPC	無効	▼	5353	Bonjour	無効	▼
ポート番号	プロトコル	フィルター																															
80	HTTP	無効	▼																														
443	HTTPS	無効	▼																														
515	LPR	無効	▼																														
9100	Printing	無効	▼																														
161	SNMP	無効	▼																														
3289	ENPC	無効	▼																														
5353	Bonjour	無効	▼																														

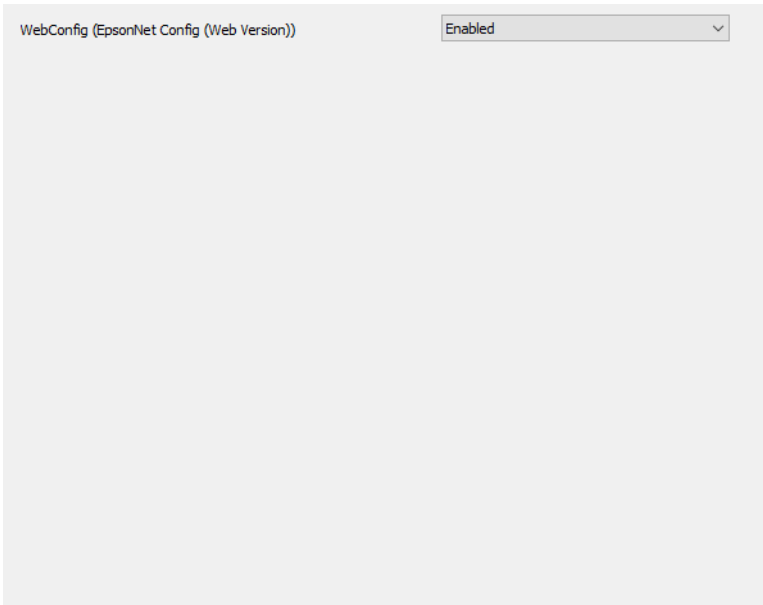
- 3
- 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、18 ページ「プリンターへの設定」を参照してください。

WebConfig

以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [詳細設定] - [WebConfig] をクリックします。
- 2 WebConfig の有効 / 無効を設定します。



設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
WebConfig (EPSONNet Config (web Version))	WebConfig の有効 / 無効を指定します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

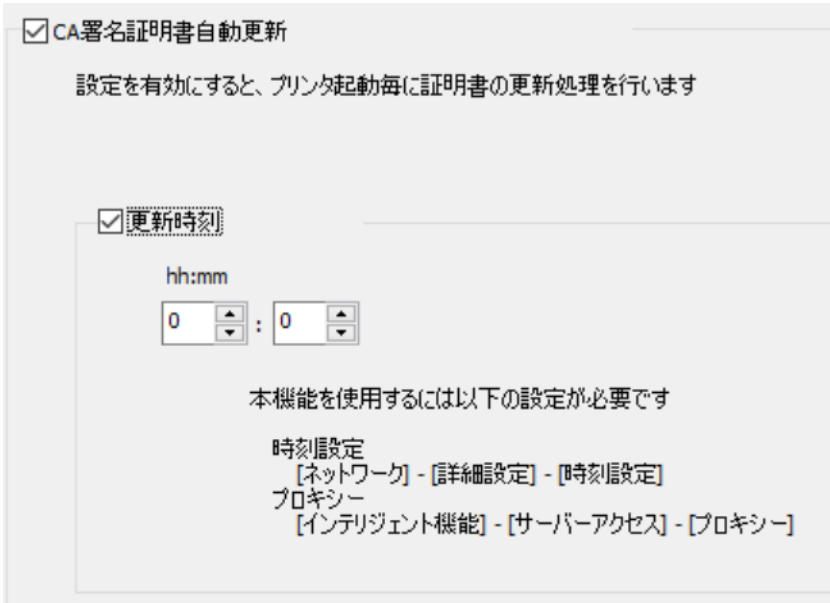
証明書自動更新

セキュリティ証明書を自動更新するように設定します。
本機能は、Epson ePOS SDK for JavaScript を使ったアプリケーションソフトを利用する際に、プリンターに登録されたセキュリティ証明書の登録と定期更新を自動化するものです。
詳細は、プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。
本設定を有効にするには、以下を設定してください。

- プリンターの時刻と時差の設定
[ネットワーク] - [詳細設定] - [時刻設定] で、以下を設定します。
タイムサーバーの指定と時差の設定、または現在の時刻と時差の設定。
- プロキシサーバーの設定
[インテリジェント機能] - [サーバーアクセス] - [プロキシ] にプロキシサーバーの指定。
または、[ネットワーク] - [詳細設定] - [プロキシ] にプロキシサーバーの指定。

以下の手順で設定します。

- 2
- 1 [ネットワーク] - [詳細設定] - [証明書自動更新] をクリックします。
 - 2 証明書自動更新の設定をします。



設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
CA 署名証明書自動更新	プリンターの起動時ごとに、証明書の更新処理を行います。 プリンターの電源を切らずに連続稼働を行う場合は、[更新時刻] を設定してください。
更新時刻	設定した時刻に、証明書の更新処理を行います。
hh:mm	時刻を設定します。 証明書の更新中は印刷できないため、プリンターの待機時刻に設定することを推奨します。

- 3 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

管理者設定

管理者設定をします。
以下の手順で設定します。

- 1 [ネットワーク] - [管理者設定] - [管理者設定] をクリックします。
- 2 管理者設定をします。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
管理者名	管理者名を入力します。
設置場所	設置場所を入力します。

- 3 パスワードを変更する場合、[パスワード変更] をクリックします。
- 4 “パスワード変更” 画面が表示されます。パスワードを設定し、[OK] をクリックします。

- 5 他の項目を設定する場合は、[設定] をクリックしないで、メニューを選択してください。プリンターへの設定をする場合は、[設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
プリンターへの設定については、[18 ページ「プリンターへの設定」](#)を参照してください。

動作テスト

プリンターが正常に動作するか、プリンターとドライバーが正常に通信されているか確認します。
以下の手順で確認します。

- 1 [動作テスト] をクリックします。
- 2 動作確認したい項目をクリックします。

印刷テスト

テスト印刷

ロゴ印刷

フォント印刷

デバイステスト

通信テスト

ドロアーを開く

ブザーテスト

カスタマーディスプレイテスト

バーコードスキャナーテスト

動作確認する項目は以下のとおりです。

- 印刷テスト

項目	説明
テスト印刷	テスト印刷します。正常に印刷されるか確認します。
ロゴ印刷	プリンターに登録されているすべてのロゴを印刷します。
フォント印刷	プリンターに搭載されているフォントを印刷します。

- デバイステスト

項目	説明
通信テスト	コンピューターとプリンターの通信が正常か確認します。
ドロアーを開く	プリンターに接続されているドロアーを開きます。 [ドロアーを開く] をクリックすると、"ドロアーを開く" 画面が表示されます。テストするドロアーを選択し、[OK] をクリックします。 ドロアーを開く 開くドロアーを選択してください。 ☒ ドロアー 1 (接続ピン番号 2) ☐ ドロアー 2 (接続ピン番号 5) OK キャンセル
ブザーテスト	プリンターのブザーを鳴らします。

項目	説明
カスタマーディスプレイ テスト*	カスタマーディスプレイに確認メッセージを表示します。
バーコードスキャナーテスト	バーコードスキャナーの読み取りテストをします。 [バーコードスキャナーテスト]をクリックすると、以下の画面が表示されます。 バーコードスキャナーでバーコードを読み取ると、読み取り結果が表示されます。 _connect_ 読み取り結果 ※読み取り結果が正しくない場合は、「キーボードレイアウト」の設定も確認してください。 クリア OK

* カスタマーディスプレイが接続されていない場合は、表示されません。

設定の保存と復元

プリンターの設定、登録された証明書、ロゴデータなどをバックアップしたり、設定をプリンターに復元したりします。

**参考**

クーポン設定は、保存したり復元したりできません。クーポン設定を他のプリンターにコピーしたい場合は、[112 ページ「クーポン設定を他のコンピューターにコピーしたい」](#)を参照してください。

プリンターの設定をファイルに保存する

以下の手順で保存します。

- 1
- [設定の保存と復元] をクリックします。
- 2
- [オプション] の中から、保存するデータをチェックします。

保存

オプション

☒ ログデータの保存

登録済みロゴデータ

☒ プリンターの設定値

保存

復元

ファイル名:

参照

説明

復元

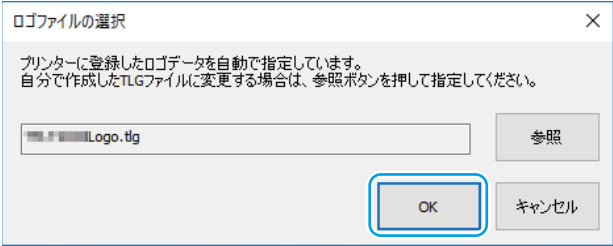
設定項目は以下のとおりです。

項目		説明
オプション	ロゴデータの保存	プリンターに登録されているロゴデータを保存します。ここでは、プリンターからデータを取得するのではなく、ロゴ登録ファイル (TLG ファイル) のデータを保存します。 27 ページ「ロゴ登録ファイルについて」 を参照してください。
	プリンターの設定値	プリンターの各種設定値を保存します。以下の設定値を保存します。 - 用紙節約の設定 - 自動用紙カットの設定 - 印刷制御の設定（印刷速度、濃度など） - デバイスフォントの設定（コードページ、国際文字セットの設定） - ブザーの設定 - インテリジェント機能の設定（プリンターに機能が搭載されている場合に保存します。） - ネットワークの設定

3 [保存] をクリックします。バックアップの確認メッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。

手順2で[ロゴデータの保存]をチェックした場合	手順4に進んでください。
手順2で[ロゴデータの保存]をチェックしなかった場合	手順5に進んでください。

4 "ロゴファイルの選択"画面が表示されます。最後に保存したロゴファイル名が表示されます。[OK] をクリックします。
保存するファイルを変更したい場合、[参照] をクリックします。



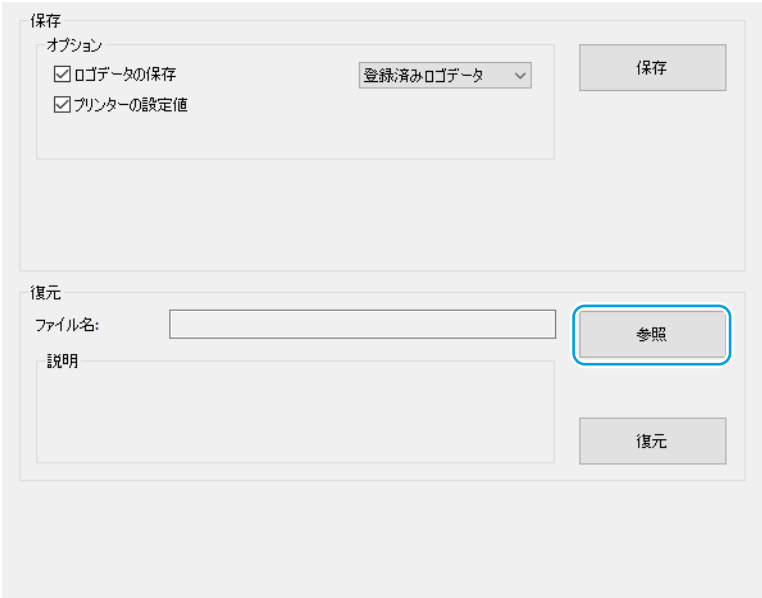
5 "名前をつけて保存"画面が表示されます。ファイル名とバックアップ先を指定して保存します。

2

設定をプリンターに復元する

以下の手順で復元します。

- 1 [設定の保存と復元] をクリックします。
- 2 [参照] をクリックし、復元する設定ファイルを指定します。



3 [復元] をクリックします。復元の確認メッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。

4 復元が成功した場合、成功メッセージが表示されます。

クーポン印刷

本章では、クーポン印刷の概要と使い方を説明しています。

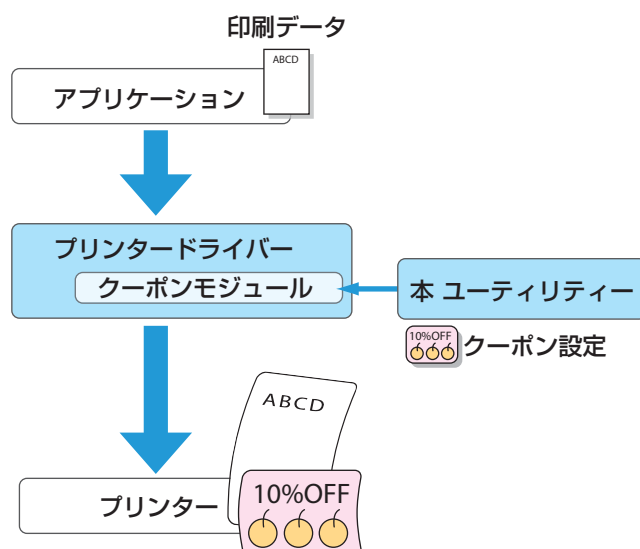
クーポン印刷の概要

クーポン印刷とは、あらかじめクーポン画像と印刷方法をクーポンモジュールに設定することで、アプリケーションからの印刷後にクーポンを印刷する機能です。この機能により、アプリケーションにクーポン印刷機能を組み込まなくても、クーポンを印刷できます。

この機能は、本ユーティリティがインストールするクーポンモジュールとプリンタードライバーを組み合わせることで実現します。プリンタードライバーについては [97 ページ「プリンタードライバー」](#) を参照してください。

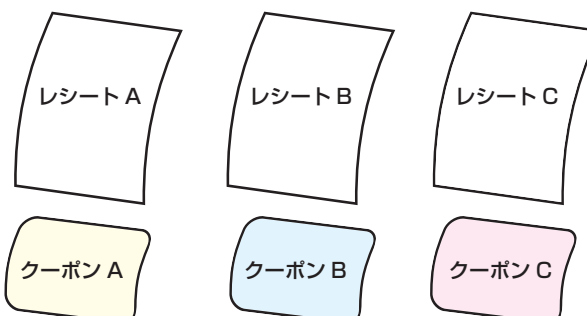
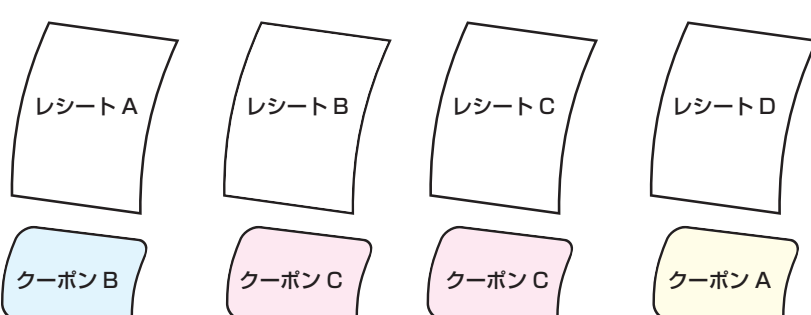
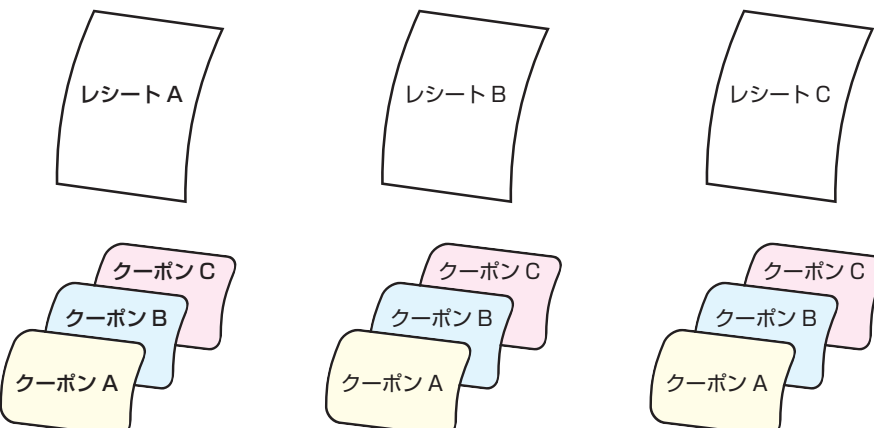
印刷の仕組み

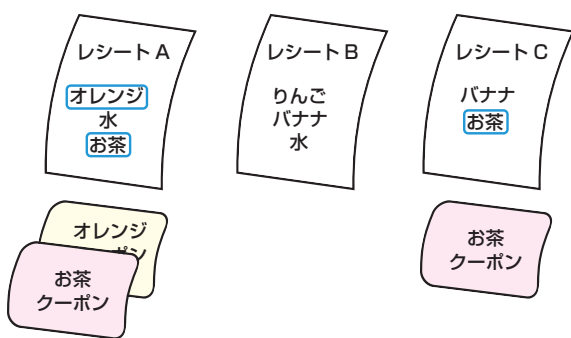
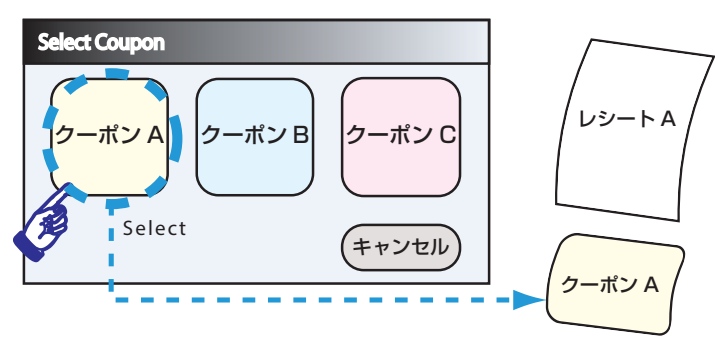
最初に本ユーティリティを使って、クーポン画像と印刷方法をクーポンモジュールに設定します。クーポンモジュールは、アプリケーションからの印刷データの後に、プリンタードライバーを使ってクーポンを印刷します。クーポンの設定については、[98 ページ「クーポンの設定」](#) を参照してください。



クーポンの印刷方法

以下のようなクーポンの印刷方法を設定できます。

方法	説明
登録順	登録した順番でクーポンを印刷します。 
ランダム	登録したクーポンを、ランダムに印刷します。 
全て印刷	登録したクーポンを、すべて印刷します。 

方法	説明
キーワード一致	印刷データに、あらかじめクーポン画像と紐付けしたテキストデータが含まれていると、クーポンを印刷します。  キーワード: オレンジ, お茶
ポップアップ選択	アプリケーションからの印刷時にコンピューターの画面にポップアップウィンドウが開き、オペレーターがクーポンを選択します。ポップアップ選択の場合、コンピューターの表示画面にタッチパネルを用意することをお勧めします。109 ページ「ポップアップ選択で印刷する場合」を参照してください。 
 参考	- キーワード一致は印刷データがデバイスフォントの場合のみ印刷できます。グラフィックデータは（TrueType フォント、画像ファイルなど）は検索できません。 - キーワード一致を使用する場合、アプリケーションからの印刷データはデバイスフォントを指定してください。また、アプリケーションによっては特殊な文字が含まれたキーワードでは一致しない場合があります。

クーポンデータ形式

- 画像ファイル (BMP, JPEG, PNG, GIF)
印刷されるサイズは、高さ 2047 ピクセルまでです。

クーポンの印刷環境

クーポンを印刷するには、以下の環境が必要です。

プリンタードライバー

クーポンモジュールは、以下のプリンタードライバーがインストールされている環境で使用できます。

- Advanced Printer Driver 6 と Status API パッケージ
- OPOS Ver.2.70 R3 以降
- OPOS for .NET Ver.1.12.2 以降

アプリケーション

- 上記のドライバーで印刷するアプリケーション

プリンターのインターフェイス

- Bluetooth
- USB
- イーサネット

クーポンの設定

本ユーティリティでクーポン画像の登録と、印刷方法を設定します。

 参考	- あらかじめ、クーポンの画像データを準備してください。 - バーコード / 二次元シンボルをクーポンに印字する場合 * バーコード / 二次元シンボル画像は黒色にしてください。 * クーポン画像のサイズを、縮小しなくても良いサイズにしてください。 * バーコード / 二次元シンボルの読み取りテストをしてください。
---	--



設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
このポートを有効にする	チェックされていると、クーポン印刷機能を有効にします。
クーポンの印刷方法	クーポンの印刷方法を設定します。
上へ / 下へ	登録順で印刷するときの順番を指定します。
配置	クーポンの印刷レイアウトを指定します。
+1/-1	印刷頻度を指定します。回数の多いほうが、多く印刷されます。
追加	クーポンデータを追加します。 クーポンは 100 個まで登録できます。
編集	選択したクーポンデータの、サイズや画質を編集します。
削除	選択したクーポンデータをリストから削除します。
テスト印刷	選択したクーポンを印刷します。
オプション	クーポンの印刷設定をします。
登録	クーポンデータを、クーポンモジュールに登録します。

クーポンの登録

ここではクーポンの画像データを登録します。



参考

- 指定可能なファイルサイズは、高さ 2047 x 幅 576 ピクセル (ドット) 以下の bmp, jpeg, gif, png ファイルです。
- クーポンの幅が用紙幅を超える場合は用紙幅に収まるようにリサイズされます。

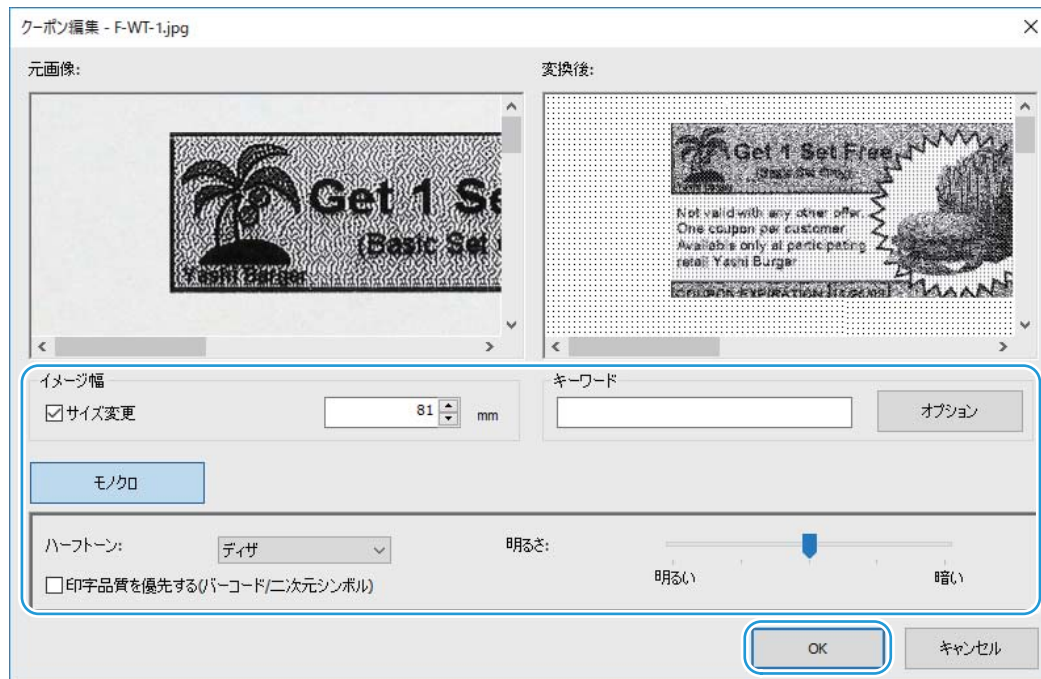
1 [追加] をクリックします。

2 "クーポンの追加方法の選択" 画面が表示されます。クーポンの追加方法を指定し、[OK] をクリックします。

クーポンの追加には、以下の方法があります。

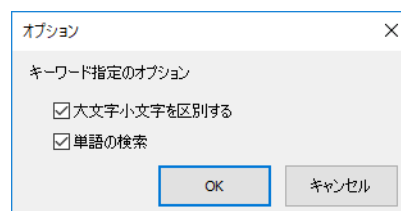
クーポンの追加方法	説明
ファイルから作成 (推奨)	画像ファイルを指定してクーポンデータを作成し、追加します。 手順 3 に進んでください。
登録済みの NV ロゴを指定	プリンターに登録された NV ロゴのキーコードを指定し、追加します。 手順 5 に進んでください。

- 3 クーポンに登録する画像ファイルを指定します。
- 4 "クーポン編集" 画面が表示されます。画面上部のプレビューを参照して、イメージデータを編集します。編集したら [OK] をクリックし、手順 6 に進みます。



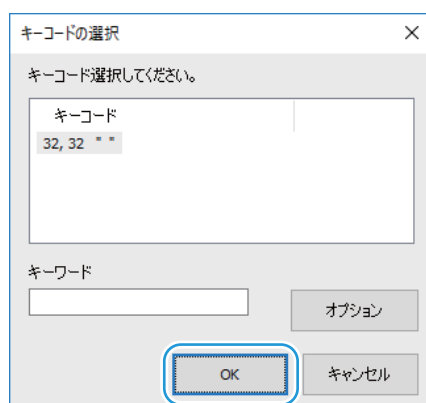
以下を設定します。

項目	説明
イメージ幅	リサイズ後の画像サイズを設定します。(設定値は mm です。)
サイズ変更	サイズ変更の有 / 無を設定します。 チェックしない場合、画像のサイズで印刷されます。画像が大きい場合、用紙幅を超える部分は印刷されません。
キーワード	クーポン画像にキーワードを設定します。 [クーポンの印刷方法] を [キーワード一致] にした場合、印刷データに、ここで設定したキーワードが含まれているときにクーポンを印刷します。 キーワード一致の設定は、103 ページ「 クーポンの印刷方法の設定 」を参照してください。 ロゴのように、印刷データの最初か最後に必ず印刷する場合は、以下のキーワードを設定します。 最初に印刷： TopLogo 最後に印刷： BottomLogo このデータは、クーポンの前後には印刷されません。
オプション	キーワード一致の条件に、[大文字小文字を区別する] / [単語の検索] を設定します。検索の詳細は、106 ページ「 オプション 」を参照してください。



項目	説明
ハーフトーン	ハーフトーンの種類を、[デザ] / [誤差拡散] / [なし] から選択します。
明るさ	明るさを設定します。
印字品質を優先する (バーコード/二次元 シンボル)	バーコード / 二次元シンボルが含まれるクーポン画像にチェックします。この設定をしたクーポン画像を印字するときは、印字速度が遅くなります。

- 5** 手順2で[登録済みのNV ロゴを指定]を選択した場合、"キーコードの選択"画面が表示されます。クーポンデータにする NV ロゴを選択し、[OK] をクリックします。

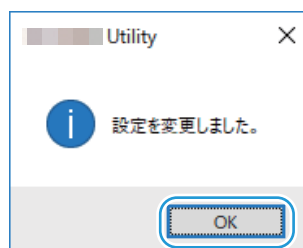


以下を設定します。

項目	説明
キーコード	クーポンデータにする NV ロゴのキーコードを選択します。
キーワード	NV ロゴにキーワードを設定します。 [クーポンの印刷方法]を[キーワード一致]にした場合、印刷データのテキストに、ここで設定したキーワードが含まれていたときにクーポンを印刷します。キーワード一致の設定は、103 ページ「クーポンの印刷方法の設定」を参照してください。 ロゴのように、印刷データの最初か最後に必ず印刷する場合は、以下のキーワードを設定します。 最初に印刷： TopLogo 最後に印刷： BottomLogo このデータは、クーポンの前後には印刷されません。
オプション	キーワード一致の条件に、[大文字小文字を区別する]/[単語の検索]を設定します。検索の詳細は、106 ページ「オプション」を参照してください。 オプション キーワード指定のオプション ☒ 大文字小文字を区別する ☒ 単語の検索 OK キャンセル

- 6** リストにクーポンデータが追加されます。
 リスト左側のチェックを外すと、そのクーポンは印刷されません。登録したクーポンを選択すると、プレビューエリアに表示されます。

- 7** 配置で、印刷レイアウトを指定します。
- 8** 複数のクーポンデータを登録する場合、手順 1 ～ 6 を繰り返します。
- 9** [登録] をクリックすると、クーポンがクーポンモジュールに登録されます。
- 10** 登録が完了したら、[OK] をクリックします。



参考

本 Utility でクーポンデータを登録すると、クーポンモジュールが登録したクーポンデータをコンピュータに保存します。保存先は以下を参照してください。

- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8
 C:\¥ProgramData¥epson¥TMm30IIUtI¥
- Windows 7
 C:\¥ProgramData¥EPSON¥TMm30IIUtI¥

クーポンの印刷方法の設定

[クーポンの印刷方法]で、クーポンを印刷する方法を選択します。

クーポンの印刷方法: ポップアップ選択

印刷	画像ファイル	回	キーワード
☒	1 F-WT-1.jpg	1	
☒	2 Top_Logo.png	2	
☒	3 Logo.png	1	

上へ 下へ 配置 中央揃え +1 -1

追加 編集 削除

テスト印刷 オプション 登録

プレビュー

クーポンの印刷方法は以下のとおりです。95 ページ「クーポンの印刷方法」を参照してください。

項目	説明
登録順	リストの順番にクーポンを印刷します。
ランダム	登録したクーポンを、ランダムに印刷します。
全て印刷	登録したクーポンを、すべて印刷します。
キーワード一致	印刷データに、あらかじめクーポン画像と紐付けしたテキストデータが含まれていると、クーポンを印刷します。印刷データにテキストが含まれていない場合、検索 / 印刷できません。 オプションの設定で、印刷しないキーワードを登録したりキーワードの検索条件を設定したりできます。106 ページ「オプション」参照してください。
ポップアップ選択	レシート印刷時にコンピューターの画面にポップアップウィンドウが開き、オペレーターがクーポンを選択します。

印刷順番の指定

[クーポンの印刷方法] が "登録順" の場合、リストの番号順に印刷します。

このポートを有効にする クーポンの印刷方法: 登録順

印刷	画像ファイル	回	キーワード
☒	1 F-WT-1.jpg	1	
☒	2 Top_Logo.png	2	
☒	3 Logo.png	1	

上へ 下へ 配置 中央揃え +1 -1

追加 編集 削除

テスト印刷 オプション 登録

プレビュー

クーポンを選択して、[上へ]/[下へ]をクリックすると、順番を入れ替えることができます。

印刷頻度の指定

[クーポンの印刷方法] が "登録順" または "ランダム" の場合、クーポンを印刷する頻度を指定します。

このポートを有効にする クーポンの印刷方法: 登録順

印刷	画像ファイル	回	キーワード
☒	1 F-WT-1.jpg	2	
☒	2 Top_Logo.png	2	
☒	3 Logo.png	3	

上へ 下へ 配置 中央揃え +1 -1

追加 編集 削除

テスト印刷 オプション 登録

プレビュー

クーポンを選択して、[+1]/[-1]をクリックすると、回数が増減します。

- [クーポンの印刷方法] が "登録順" の場合：
指定された回数、同じクーポンを続けて印刷します。
たとえば No.2 のクーポンの回数が 3 で他のクーポンの回数が 1 の場合、No.1 → No.2 → No.2 → No.2 → No.3 の順番で印刷します。
- [クーポンの印刷方法] が "ランダム" の場合：
印刷頻度を加味してランダムに印刷します。
たとえば No.2 のクーポンの回数が 3 で他のクーポンの回数が 1 の場合、No.2 は他のクーポンよりも 3 倍多く印刷します。

[クーポンの印刷方法]の応用

[クーポンの印刷方法]の機能を組み合わせることで、以下のような使い方ができます。

100 枚に 1 枚の割合で、当たりのクーポンを発行

- 1 当たりのクーポンと当たりでないクーポンを用意します。
- 2 クーポンの印刷方法から [ランダム] を選択し、当たりクーポンの回数を 1 に設定します。
- 3 当たりでないクーポンの回数を 99 に設定します。

購入合計金額が \$100 から \$999 の場合に、クーポンを発行

- 1 [クーポンの印刷方法] で [キーワード一致] を選択し、クーポンのキーワードを "Total_ _\$" (アンダーラインはスペース) に設定します。
- 2 [キーワード指定のオプション] の [単語の検索] のチェックを外します。

1 行の印字桁数が 15 文字固定の場合

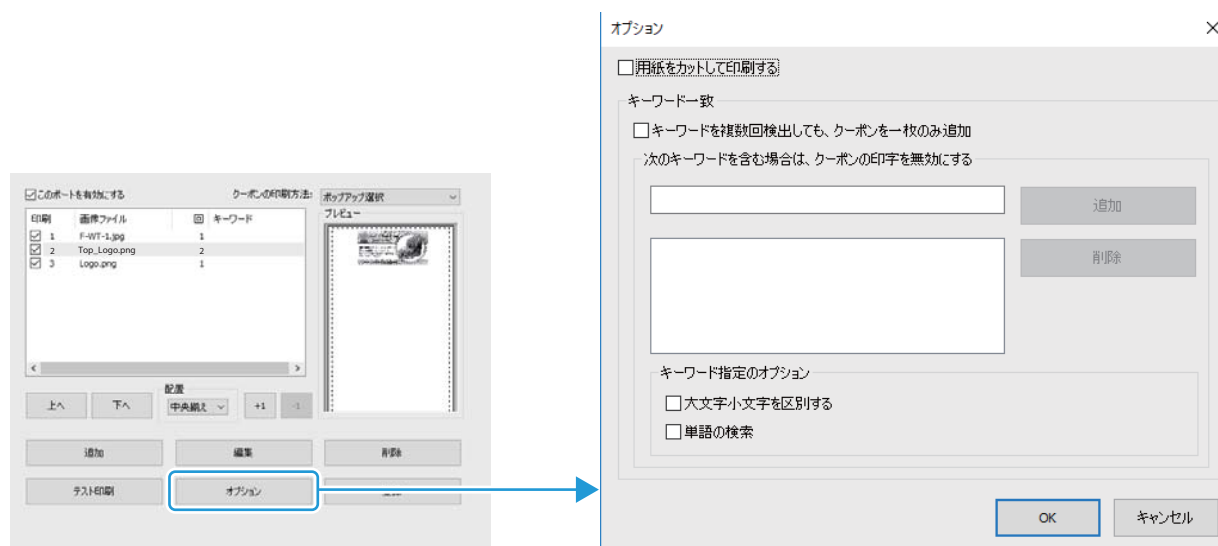
キーワード: Total: _ _ \$

印字結果: Total: _ _ \$100.00



オプション

クーポン印刷の詳細な設定をします。



設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
用紙をカットして印刷する	チェックすると、クーポンを印刷するごとにオートカットします。
キーワードを複数回検出して も、クーポンを一枚のみ追加	チェックすると、印刷データにクーポンデータに紐付けしたキーワードが複数回検出されても、該当のクーポンは 1 枚のみ印刷されます。チェックされていない場合、該当のクーポンを、キーワードの検出回数の枚数印刷します。 この設定は、[クーポンの印刷方法] が "キーワード一致" の場合のみ有効な設定です。 チェックなし キーワード: バナナ チェックあり キーワード: バナナ

項目	説明
次のキーワードを含む場合は、クーポンの印字を無効にする	クーポン印刷を無効にするキーワードを設定します。 印刷データのテキストに、この設定で設定したキーワードが含まれていた場合、他のクーポンに設定したキーワードが含まれていてもクーポンを印刷しません。 設定なし キーワード: オレンジ 設定あり クーポンの印字を無効にする キーワード: バナナ キーワード: オレンジ
キーワード指定のオプション	キーワード指定に以下の条件を付加できます。 大文字小文字を区別する: 設定したキーワードを大文字/小文字を区別して指定します。アルファベットの場合に有効な設定です。 単語の検索: 設定したキーワードを単語で検索します。

キーワードの検索判断方法

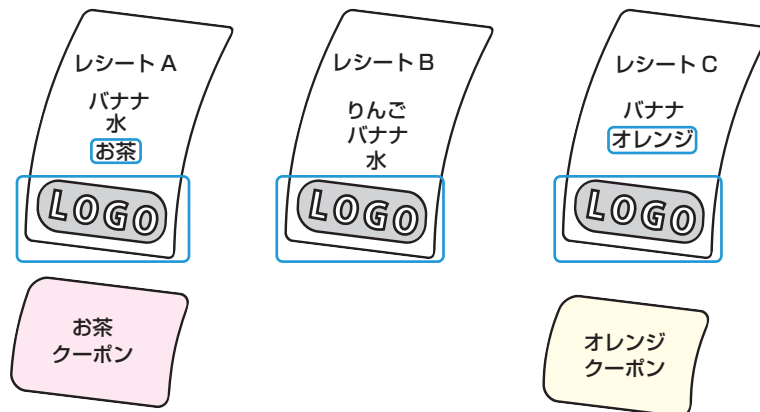
以下は、オプション設定の項目をすべて有効にした場合の結果です。

クーポンのキーワード	印字データ	検索結果	備考
りんご	りんご	○	
	りんご あめ	○	
	りんごあめ	×	[単語の検索]の設定を外した場合、検索されます。
Apple	Apple	○	
	apple	×	[大文字小文字を区別する]の設定を外した場合、検索されます。
	AppleCandy	×	[単語の検索]の設定を外した場合、検索されます。
	appleCandy	×	オプション設定をすべて外した場合、検索されます。
	Apple Candy	○	

印刷データだけにロゴを印刷する

本ユーティリティの「自動用紙カット」で「用紙カット時にロゴを印刷する」をチェックすると、クーポンにもロゴを印刷します。

印刷データだけにロゴを印刷するには、ロゴデータをクーポンに登録して印刷データの都度印刷するようにします。



この例では、LOGO ファイルのキーワードに "BottomLogo" を設定しています。

設定方法は、以下のとおりです。

- 1 [自動用紙カット] で [用紙カット時にロゴを印刷する] 以外に設定します。
- 2 [クーポン] で、ロゴ用のクーポン画像を登録し、キーワードに以下の設定をします。設定方法は、[99 ページ「クーポンの登録」](#)を参照してください。

項目	説明
TopLogo	印刷データの前にロゴを印刷します。
BottomLogo	印刷データの後にロゴを印刷します。

- 3 クーポンの印刷方法を指定します。
クーポン印刷は、どの方法と組み合わせても設定できます。



参考

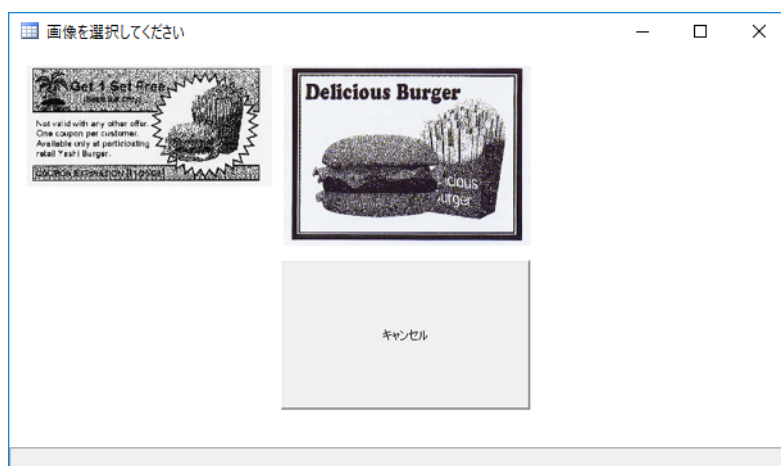
キーワードに "TopLogo" を設定した場合、[用紙節約の設定] の "上余白の削減" は設定できません。[32 ページ「用紙節約」](#)を参照してください。

クーポンの印刷

ポップアップ選択で印刷する場合

[クーポンの印刷方法]を"ポップアップ選択"に設定した場合、アプリケーションから印刷すると、クーポン選択画面が表示されます。画面からクーポンを選択すると、データ印刷の最後に、クーポンが印字されます。クーポンを印刷しない場合は、[キャンセル]をクリックします。

オプション画面で[クーポンが選択されなかったら自動的に画面を閉じる]をチェックすると、ポップアップ画面が表示された後、指定した時間が経過すると画面が閉じてデータが印刷がされます。クーポンは印刷されません。[110 ページ「ポップアップ選択の設定」](#)を参照してください。

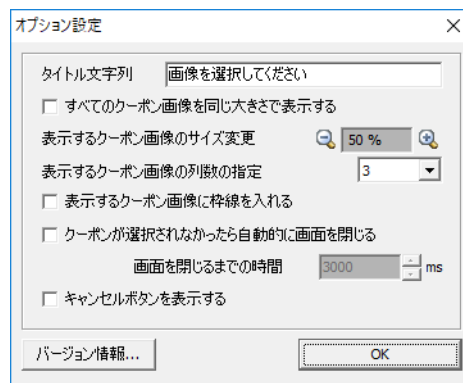


参考

ポップアップ画面で表示できるクーポン画像は、100 枚までです。

ポップアップ選択の設定

[クーポンの印刷方法]を、"ポップアップ選択"に設定すると、タスクトレイに「クーポンの選択」のアイコンが追加されます。そのアイコンを右クリックし、[オプション]を選択すると"ポップアップ選択"の設定ができます。



設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
タイトル文字列	クーポン選択画面のタイトル文字列を指定します。
すべてのクーポン画像を同じ大きさで表示する	チェックすると、表示されるすべてのクーポンを、同じサイズで表示します。
表示するクーポン画像のサイズ変更	[-]/[+]で、クーポン選択画面に表示される、クーポン画像の縮尺を指定します。
表示するクーポン画像の列数の指定	クーポン選択画面に表示される、クーポン画像の列数を指定します。
表示するクーポン画像に枠線を入れる	チェックを入れると、選択するクーポン画像の端に枠線が表示されます。
クーポンが選択されなかったら自動的に画面を閉じる	チェックを入れると、クーポン画像を選択しないで「画面を閉じるまでの時間」が経過した場合、自動的にクーポン選択画面が閉じます。
画面を閉じるまでの時間	自動的にクーポン選択画面が閉じるまでの時間 (100 ~ 30000 ms) を指定します。[クーポンが選択されなかったら自動的に画面を閉じる]が選択されている場合に設定できます。
キャンセルボタンを表示する	チェックを入れると、クーポン選択画面に [キャンセル] ボタンが表示されます。
バージョン情報	オプションのバージョン情報が表示されます。

FAQ

印刷できない

本ユーティリティーを終了してください。本ユーティリティーが起動していると印刷できません。

クーポンを印刷できない

以下の設定を確認してください。設定は [98 ページ「クーポンの設定」](#) を参照してください。

- 登録したクーポン画像のリスト
チェックされていない場合、チェックしてから再度登録してください。
- [このポートを有効にする]
チェックされていない場合、チェックしてから再度登録してください。

設定したキーワードでクーポンが印刷できない

以下の設定を確認してください。

- キーワード一致以外で印刷できるか確認してください。
- キーワードの設定をもう一度確認してください。 [106 ページ「オプション」](#) を参照してください。
- Advanced Printer Driver 6 を使用しているアプリケーションの場合、以下を確認してください。
 - フォントをデバイスフォントにして、指定されたサイズに変更します。
 - アプリケーションでデバイスフォントを指定できない場合、Advanced Printer Driver 6 の高度な設定で、フォント置き換えをします。以下の手順で設定します。
 1. APD Utility の、[フォント置き換え]-[TrueType フォントの置き換え] を選択します。
 2. [置き換える TrueType フォント] に、アプリケーションで使用しているフォントを指定します。
 3. [デバイスフォント] から、デバイスフォントを指定します。デバイスフォントを選択すると、フォントサイズにポイントが指定されます。アプリケーションで印刷するサイズに近いサイズのデバイスフォントを選択してください。
 4. 実際に印刷して、キーワード一致でクーポンを印刷できるかどうかを確認してください。アプリケーションで印刷するサイズとデバイスフォントのサイズが違くと、印刷できないことがあります。

クーポン設定を他のコンピューターにコピーしたい

以下の手順で他のコンピューターにコピーしてください。

- 1 クーポン対応ドライバーをインストールして設定します。
- 2 コピー元のコンピューターのクーポンデータおよび設定ファイルを、コピーします。
クーポンデータおよび設定ファイルの保存先
Windows 10/Windows 8.1/Windows 8
C:\ProgramData\Epson\TMm30II\Util\¥
Windows 7
C:\ProgramData\EPSON\TMm30II\Util\¥
- 3 コピー先のコンピューターに、クーポンデータおよび設定ファイルを保存します。
コピー元のコンピューターと同じ位置に、クーポンデータおよび設定ファイルを保存してください。

UPOS ドライバーで、クーポン画像をカットしてしまう

お客様のアプリケーションの設定を、以下のようにしてください。

- UPOS ドライバーの用紙カットの方法： エスケープシーケンスの "Feed and Paper cut"

Acknowledgements

About the Info-Zip License

This utility incorporate compression code from the Info-ZIP group.

This is version 2009-Jan-02 of the Info-ZIP license. The definitive version of this document should be available at <ftp://ftp.info-zip.org/pub/infzip/license.html> indefinitely and a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infzip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2009 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. Additional documentation is not needed for executables where a command line license option provides these and a note regarding this option is in the executable's startup banner. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions—including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP—must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases—including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

About the picojson License

This utility includes picojson.

Copyright 2009-2010 Cybozu Labs, Inc.

Copyright 2011-2014 Kazuho Oku

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.